

さいたま市 都市戦略本部 都市経営戦略部 シティセールス担当 御中

さいたま市首都圏における都市イメージ調査業務 報告書

令和7年3月10日

株式会社クロス・マーケティング

目次

目次	… 01	
調査概要	… 03	
調査項目	… 05	
調査結果の概要	… 06	
調査結果(属性情報)	… 11	
SC1.性別	… 12	
SC2.年齢	… 13	
SC5.居住地	… 14	
調査結果 (さいたま市に対するイメージ形成等)	… 15	
SC6.さいたま市への訪問経験	… 16	
Q1.さいたま市への訪問理由	… 17	
Q2.さいたま市への訪問意向	… 19	
SC7.さいたま市移住検討の有無	… 21	
Q3.さいたま市移住検討理由	… 22	
SC8.「のびのびシティさいたま市」の認知	… 24	
SC9.「つなが竜ヌウ」の認知	… 25	
Q4.さいたま市の施設・名所・名物の認知	… 26	
Q5_1.さいたま市の施設・名所・名物利用経験	… 28	
Q5_2.さいたま市の施設・名所・名物今後利用意向	… 29	
Q6.さいたま市のイメージ	… 30	
Q7.さいたま市の交通利便性	… 32	
Q8.さいたま市の交通利便性が良い理由	… 33	
Q9.さいたま市の交通利便性が悪い理由	… 34	
Q10.住みやすいまちの条件	… 35	
Q11.さいたま市の住みやすさ	… 37	
Q12.さいたま市の情報源	… 38	
Q13.さいたま市を連想するもの	… 40	
Q14.さいたま市への好感	… 42	
Q15.さいたま市のキヤッチフレーズとコンセプト認知	… 43	
Q16.さいたま市のキヤッチフレーズとコンセプトの印象	… 44	
【参考資料1】居住地別比較 (北関東/南関東)	… 48	
SC6.さいたま市への訪問経験	… 49	

目次

Q1.さいたま市への訪問理由	… 50
Q2.さいたま市への訪問意向	… 51
SC7.さいたま市移住検討の有無	… 52
Q3.さいたま市移住検討理由	… 53
SC8.「のびのびシティさいたま市」の認知	… 54
SC9.「つなが竜ヌウ」の認知	… 55
Q4.さいたま市の施設・名所・名物の認知	… 56
Q6.さいたま市のイメージ	… 57
Q7.さいたま市の交通利便性	… 58
Q10.住みやすいまちの条件	… 59
Q11.さいたま市の住みやすさ	… 60
Q12.さいたま市の情報源	… 61
Q13.さいたま市を連想するもの	… 62
Q14.さいたま市への好感	… 63

調査概要

調査目的	首都圏在住の方のさいたま市に対するイメージ形成等が、どのような態様を示しているのかを明らかにする。																																																																																								
調査エリア	栃木県、群馬県、茨城県、埼玉県（さいたま市を除く。）、千葉県、東京都及び神奈川県																																																																																								
調査対象者	性別：男女 年齢：20歳～60歳																																																																																								
サンプル数・割付	<p>サンプル数：700サンプル ※詳細割付は以下の通り</p> <table><thead><tr><th>性年代\居住地</th><th>茨城県</th><th>栃木県</th><th>群馬県</th><th>東京都</th><th>埼玉県 (さいたま市除く)</th><th>千葉県</th><th>神奈川県</th></tr></thead><tbody><tr><td>20代 男性</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>20代 女性</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>30代 男性</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>30代 女性</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>40代 男性</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>40代 女性</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>50代 男性</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>50代 女性</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>60代 男性</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td></tr><tr><td>60代 女性</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td><td>10</td></tr></tbody></table>	性年代\居住地	茨城県	栃木県	群馬県	東京都	埼玉県 (さいたま市除く)	千葉県	神奈川県	20代 男性	10	10	10	10	10	10	10	20代 女性	10	10	10	10	10	10	10	30代 男性	10	10	10	10	10	10	10	30代 女性	10	10	10	10	10	10	10	40代 男性	10	10	10	10	10	10	10	40代 女性	10	10	10	10	10	10	10	50代 男性	10	10	10	10	10	10	10	50代 女性	10	10	10	10	10	10	10	60代 男性	10	10	10	10	10	10	10	60代 女性	10	10	10	10	10	10	10
性年代\居住地	茨城県	栃木県	群馬県	東京都	埼玉県 (さいたま市除く)	千葉県	神奈川県																																																																																		
20代 男性	10	10	10	10	10	10	10																																																																																		
20代 女性	10	10	10	10	10	10	10																																																																																		
30代 男性	10	10	10	10	10	10	10																																																																																		
30代 女性	10	10	10	10	10	10	10																																																																																		
40代 男性	10	10	10	10	10	10	10																																																																																		
40代 女性	10	10	10	10	10	10	10																																																																																		
50代 男性	10	10	10	10	10	10	10																																																																																		
50代 女性	10	10	10	10	10	10	10																																																																																		
60代 男性	10	10	10	10	10	10	10																																																																																		
60代 女性	10	10	10	10	10	10	10																																																																																		

調査概要

実査期間	2025年1月31日（金）～2025年2月2日（日）
調査手法	インターネット調査
調査機関	株式会社クロス・マーケティング
調査項目	次ページを参照

調査項目

設問番号	設問文
SC6	あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に行ったことがありますか。
SC7	あなたは、さいたま市内（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に住むことを検討したことがありますか。
SC8	あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）の都市イメージキヤッチフレーズ「のびのびシティさいたま市」を知っていますか。
SC9	あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）PRキャラクター「つなが竜ヌウ」を知っていますか。
Q1	あなたがさいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に行った理由について、あてはまるものを全てお選びください。（いくつでも）
Q2	あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に行ってみたいと思いますか。 通勤・通学・通院・仕事等の目的以外でお答えください。また、行ったことがある人も今後の意向としてお答えください。（いくつでも）
Q3	あなたが、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）内に住むことを検討した理由について、 あてはまるものを全てお選びください。（いくつでも）
Q4	以下のさいたま市内（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）の施設・名所・名物で、 あなたが知っているものを全てお選びください。（いくつでも）
Q5	以下のさいたま市内（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）の施設・名所・名物で、 あなたが利用したことがあるものと今後（も）利用したいものを全てお選びください。（いくつでも）
Q6	さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）について、どのようなイメージを持っていますか。（いくつでも）
Q7	あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）を「交通利便性の良いまち」だと思いますか。住んでいない人もイメージでお答えください。
Q8	あなたがさいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）の交通の利便性が良いと思った理由について、あてはまるものを全てお選びください。（いくつでも）
Q9	あなたがさいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）の交通の利便性が良いと思わない理由について、あてはまるものを全てお選びください。（いくつでも）
Q10	あなたにとって、「住みやすいまち」とはどのようなまちですか。（いくつでも）
Q11	あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）を「住みやすいまち」だと思いますか。 また、行ったことがない方もイメージでお答えください。
Q12	あなたは普段、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に関連する情報（話題やニュース）をどこで見聞きしていますか。（いくつでも）
Q13	以下の項目のうち、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）を連想するものを選んでください。（いくつでも）
Q14	あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に好感を持っていますか。
Q15	さいたま市は下記に挙げたキヤッチフレーズを基に、進化・発展を目指しています。あなたはこのキヤッチフレーズとコンセプトを知っていますか。
Q16	さいたま市は下記に挙げたキヤッチフレーズを基に、進化・発展を目指しています。あなたはこのキヤッチフレーズとコンセプトを見て、 どのような印象を持ちましたか。下記に挙げた項目ごとに、あなたの考えを教えてください。



調査結果の概要

Topic Summary01

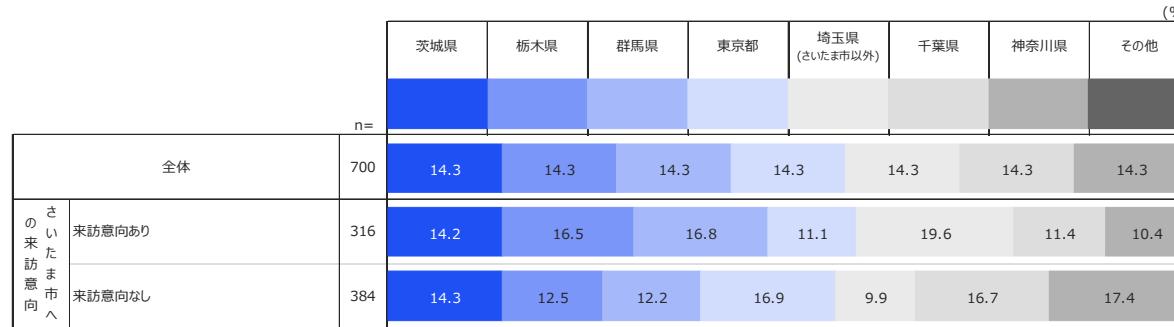
さいたま市への訪問意向

調査結果

さいたま市への訪問意向がある人 : 45.1%

さいたま市への訪問意向が無い人 : 54.9%

さいたま市への訪問意向が無い人は東京都、千葉県、神奈川県が比較的多い



考察

訪問意向が無い人は、東京を含めた南関東に住んでいる人が多く、さいたま市に行く必要性を感じていないためか、さいたま市へのイメージが希薄であり、さいたま市との情報接觸機会も少ない。

さいたま市との関わりや興味が薄い層であることが考えられる。

そのため、能動的にさいたま市との情報に接することは難しいと想定される。

示唆

訪問意向の無い人は能動的なさいたま市の情報への関与が期待できないと思われる。

その一方で、訪問意向の無い人でも、さいたま市との情報接觸でテレビが14.8%と唯一10%を超えていく。

従って、さいたま市のテレビの露出機会を増やすことによる、受動的な情報接觸機会を高めることで、さいたま市の魅力を知つもらうような工夫・仕掛けが必要だと思われる。

※「テレビ」以外では、映画やテレビの撮影場所としての提供や、集客力高いイベントの告知・周知徹底なども訪問意向を高める施策として検討に値するかもしれない。

Topic Summary02

さいたま市の交通利便性について

調査結果

さいたま市を利便性の良いまちだと思う人：47.6%

良いと思う理由：「複数の新幹線が走っている、新幹線の停車駅があるから」（67.3%）、「主要な路線が利用できるから」（62.2%）、「利用できる交通機関の種類が多いから」（48.0%）

さいたま市を利便性の良いまちだと思わない人：22.9%

良くないと思う理由：「さいたま市」周辺の観光地へのアクセスが良くないから・アクセスがよくわからないから」（57.5%）

考察

さいたま市を交通利便性の良いまちだと思う人は、さいたま市に対して、「東京までのアクセスがよいまち」（56.6%）や「通勤、通学などの交通の便がよいまち」（24.6%）などの交通利便性が良いまちというイメージをしっかりと受け取れていると考えられる。

一方で、さいたま市を交通利便性の良いまちだと思わない人は、さいたま市自体のイメージが交通利便性を含めて希薄であり、さいたま市との接点が不足していると考えられる。

示唆

さいたま市を交通利便性の良いまちだと思わない人に対しては、さいたま市の周辺観光地へのアクセスの良さを伝えるだけでなく、興味を持つもらえるような施設や名所などの観光地の情報も併せて発信していく必要があると考えられる。

実際、交通利便性の良いまちだと思わない人はさいたま市の各施設・名所・名物の認知率も低い結果であった。※次ページグラフ参照
知っている施設では、「さいたまスーパーアリーナ」「浦和レッズ」「鉄道博物館」「埼玉スタジアム2002」が20%を超えるが、いずれも趣味性もった人に限られるとともに、コンサート・ライブ観戦、イベント等や、サッカー観戦といった一つの目的を達成するための施設であり、さいたま市の回遊性を高めることへの期待が高いとは言えない。

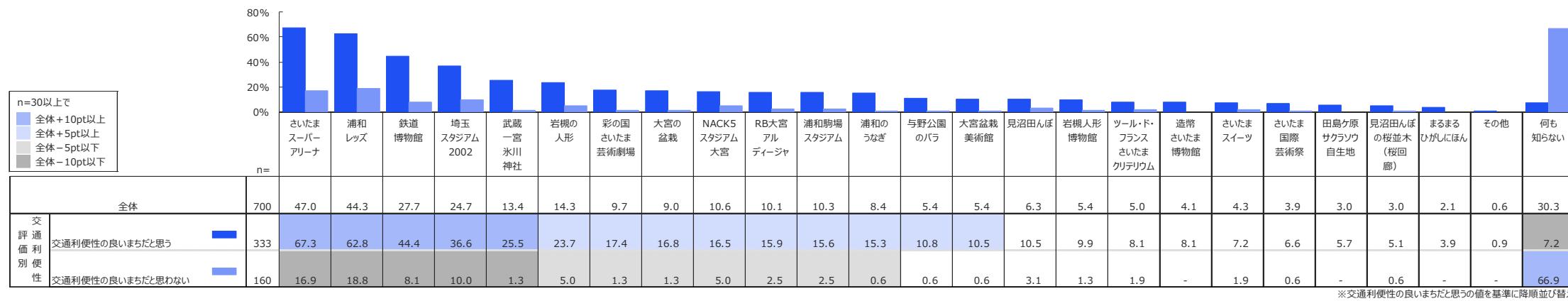


従って、回遊性の高い観光施設への興味喚起を最初のステップとし、周辺観光地へのアクセス方法を同時に発信することで、さいたま市への興味・関心を高めるとともに、交通の利便性の良いまちというイメージを持つ土台を整える必要があると推察される。

Topic Summary02

さいたま市の交通利便性について

交通利便性評価別のさいたま市の各施設・名所・名物の認知率



※交通利便性の良いまちだと思うの値を基準に降順並び替え

Topic Summary03

さいたま市を住みやすいまちだと思うか

調査結果

さいたま市を住みやすいまちだと思う人：38.1%

住みやすいまちの条件：「普段の買い物がしやすい」（65.9%）、「電車の便が良い」（62.5%）、「駅までのアクセスがよい」（49.8%）

さいたま市を住みやすいまちだと思わない人：21.4%

住みやすいまちの条件：「治安がよい」（30.7%）、「普段の買い物がしやすい」（25.3%）、「電車の便が良い」（20.7%）

考察

さいたま市を住みやすいまちだと思う人は、交通利便性を住みやすいまちの条件として最も重視しているものの、交通面だけでなく、治安の良さや普段の買い物のしやすさ、公共施設の充実度など、「住みやすいまち」と感じるための条件は多様である。

そのため、交通利便性だけでなく、生活一般における利便性を感じてもらえるような活動が必要となると考えられる。

示唆

さいたま市が住みやすいと感じてもらうためには、交通の利便性をしっかりと伝えつつも、「治安の良さ」や「買い物のしやすさ」など日常生活に必要とされるものが充足している点を情報発信をしていく必要があると思われる。

こうした情報発信によって、“住んでみたい”という気持ちをより高める必要があるが、さいたま市を住みやすいと感じていない人は、基本的に能動的な情報接觸が少ないため、受動的情報接觸メディアである「テレビ」に頼らざるをえないと考えられる。



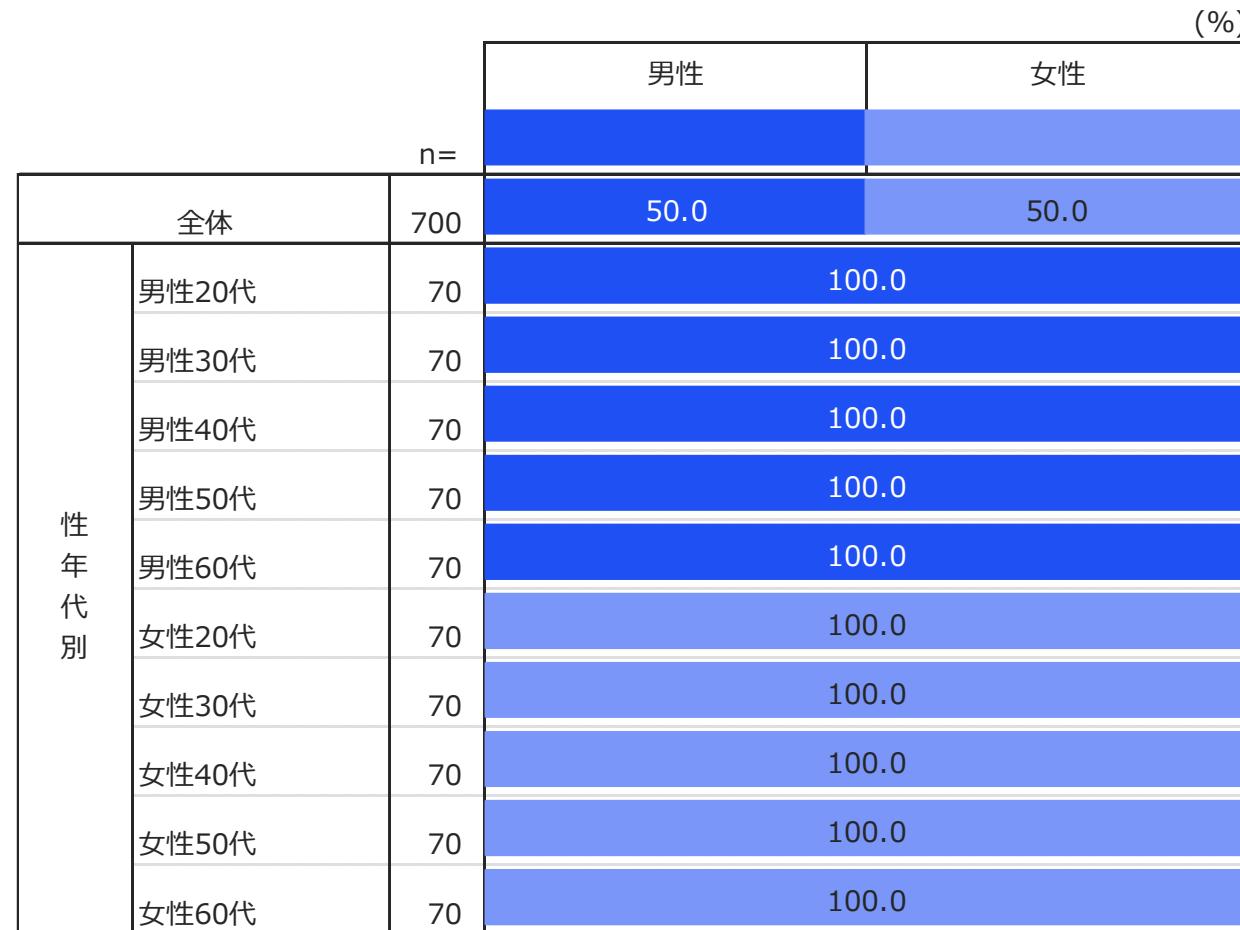
- ✓ さいたま市に興味がない人は能動的にさいたま市の情報にアクセスしない（≠さいたま市のHPやSNSは見ない） → “受動的メディアである「テレビ」を通じてさいたま市の魅力を発信する → さいたま市に興味をもってもらう → さいたま市のことを探りたい・調べたい気持ちを喚起 → さいたま市が発信・提供するメディア・情報源にアクセスする”といったフロー作りが必要だと思われる。

調査結果(属性情報)

注) 今回の調査結果と2020年度～2024年度に行った調査結果を比較し、現状を見た。
ただし、サンプル数や質問内容、設問順が若干異なることから、完全な比較とはならない。

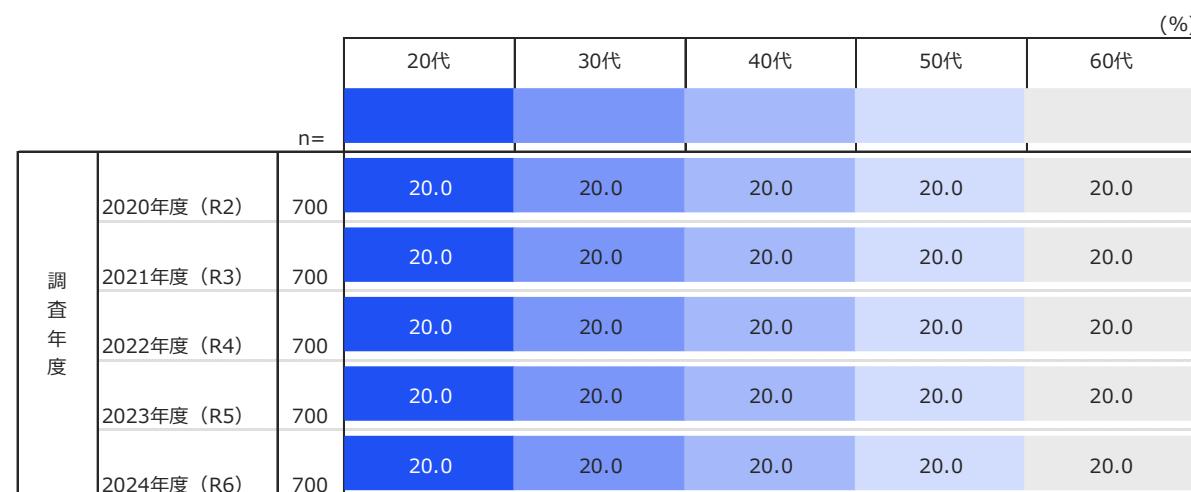
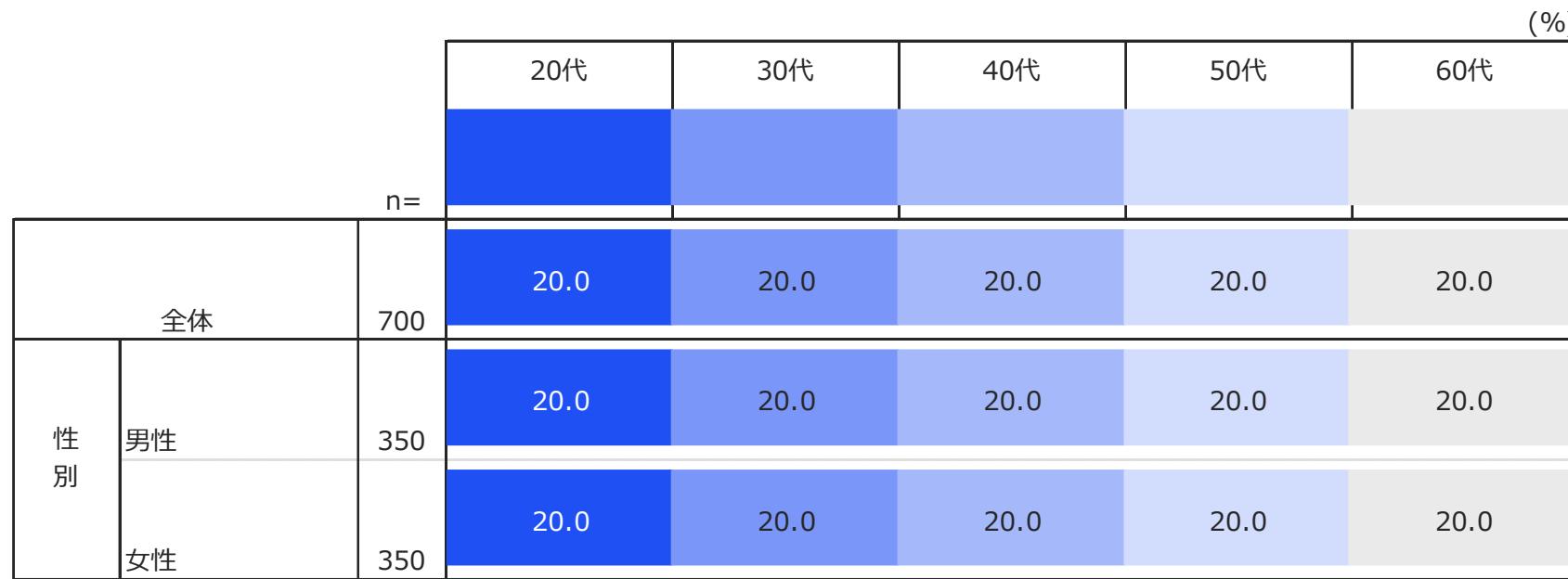
SC1 あなたの性別をお答えください。(SA)

- 前回調査までと同様、性年代、都道府県均等に回収した。



SC1 あなたの性別をお答えください。(SA)

SC2 あなたの年齢をお答えください。(NU)



SC5 あなたの居住地をお答えください。(SA)

		茨城県	栃木県	群馬県	東京都	埼玉県 (さいたま市以外)	千葉県	神奈川県	(%)
n=									
全体		700	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
性 年 代 別	男性20代	70	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
	男性30代	70	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
	男性40代	70	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
	男性50代	70	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
	男性60代	70	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
	女性20代	70	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
	女性30代	70	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
	女性40代	70	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
	女性50代	70	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
	女性60代	70	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3

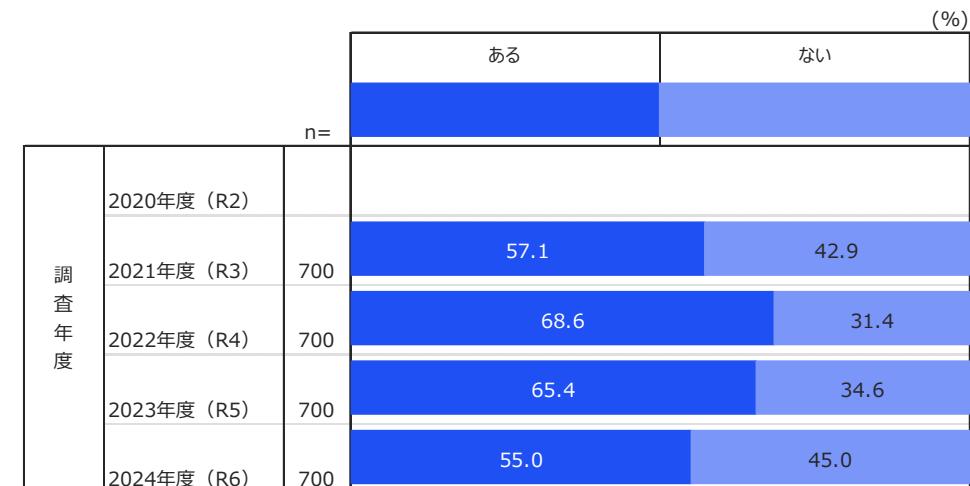
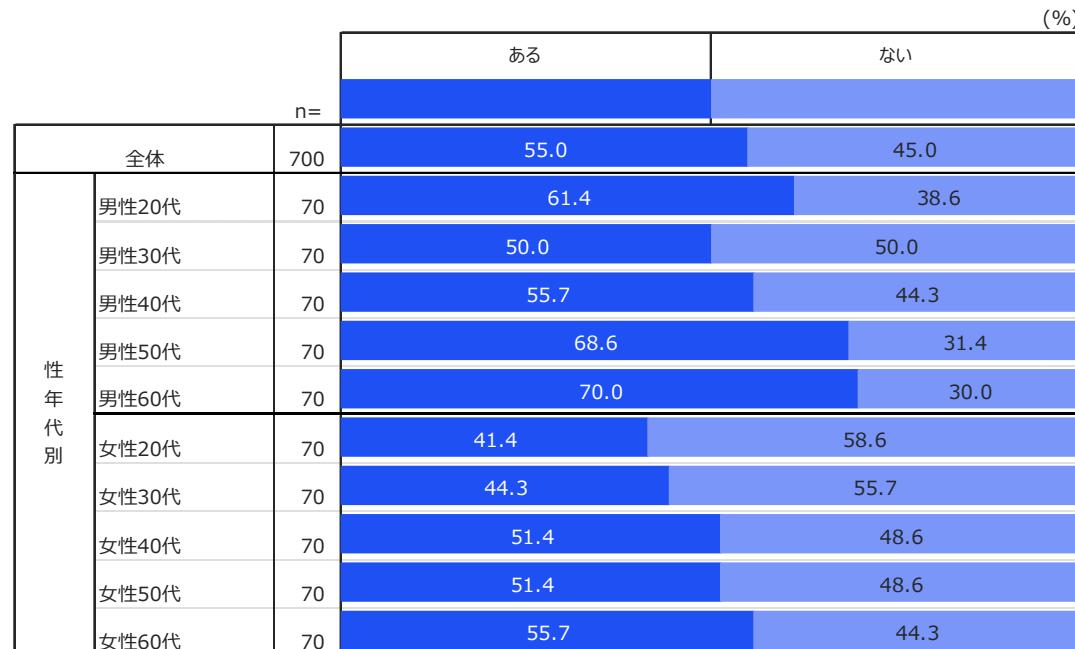
		茨城県	栃木県	群馬県	東京都	埼玉県 (さいたま市以外)	千葉県	神奈川県	(%)
n=									
2020年度 (R2)		700	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
調 査 年 度	2021年度 (R3)	700	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
	2022年度 (R4)	700	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
	2023年度 (R5)	700	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3
	2024年度 (R6)	700	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3	14.3

調査結果（さいたま市に対するイメージ形成等）

注) 今回の調査結果と2020年度～2024年度に行った調査結果を比較し、現状を見る。
しかし、サンプル数や質問内容、設問順が若干異なることから、完全な比較とはならない。

SC6 あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に行ったことがありますか。（SA）

- 全体で、さいたま市に行ったことがある人は、55.0%と直近4年間の調査で、最も低い数値となり、2021年度調査と同水準であった。
- 2024年度において、女性は年代が上がるにつれて、さいたま市に行ったことがある人が増加する傾向。



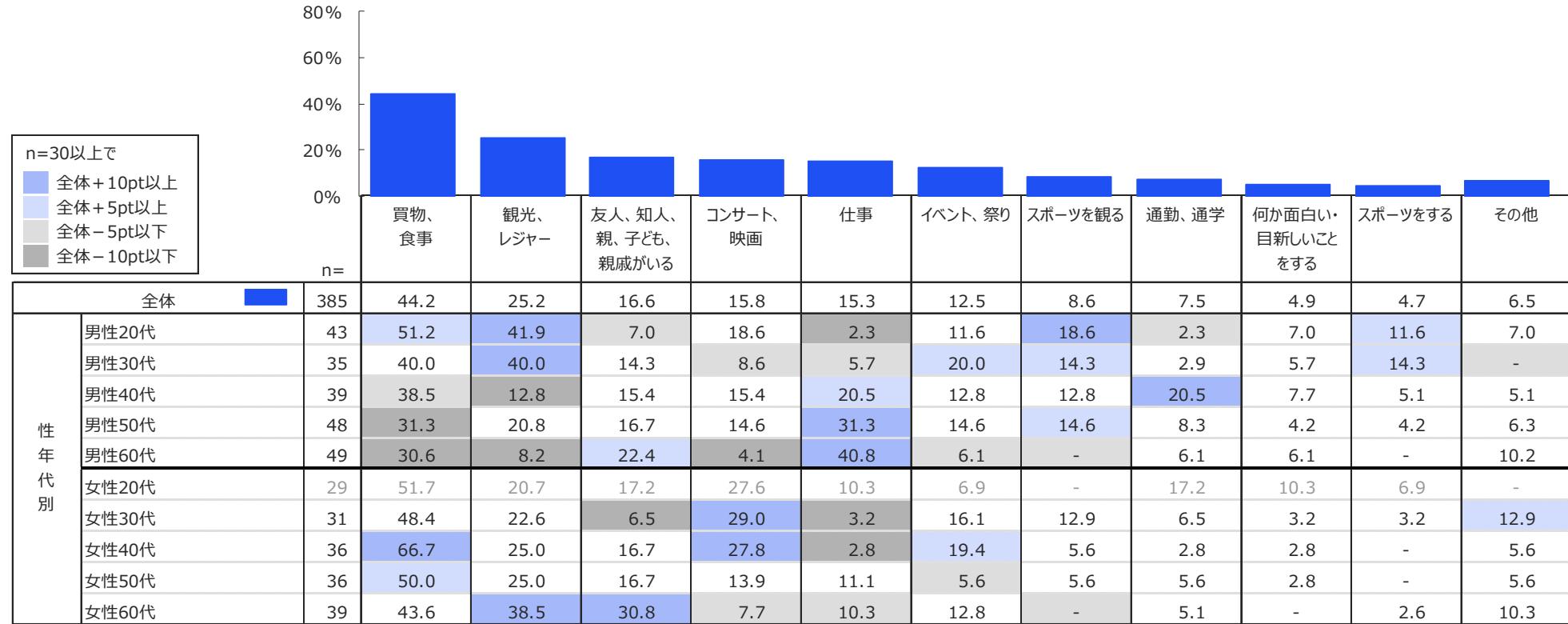
※2020年度は非聴取

Q1 あなたがさいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に行った理由について、あてはまるものを全てお選びください。(MA)

- さいたま市に行った理由は、全体で「買物、食事」が44.2%で最も高く、「観光、レジャー」（25.2%）、「友人、知人、親、子ども、親戚がいる」（16.6%）と続く。
- 性年代別で見ると、男性20-30代は「観光、レジャー」、男性40-60代は「仕事」、女性30-40代は「コンサート、映画」、女性40-50代は「買物、食事」が高い。

【調査年度別】※ グラフは次ページに掲載

- いずれの年度もさいたま市に行く理由として「買物、食事」が最も高く、2023年度まで上位3項目に入っていた「仕事」は今回調査では9.4pt低下した。



Q1 あなたがさいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に行った理由について、
あてはまるものを全てお選びください。(MA)



Q2 あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に行ってみたいと思いますか。
通勤・通学・通院・仕事等の目的以外でお答えください。また、行ったことがある人も今後の意向としてお答えください。(MA)

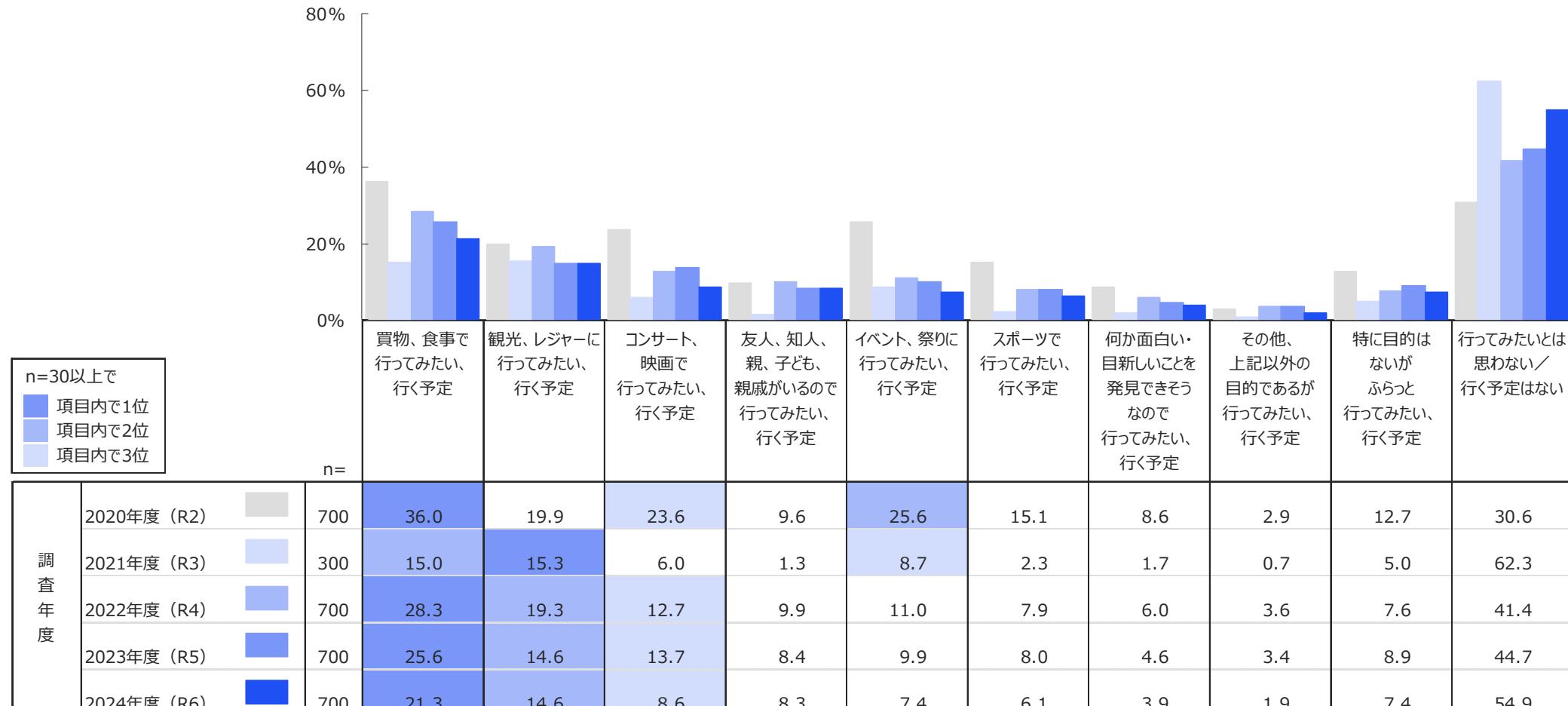
- 全体では、「買物、食事で行ってみたい、行く予定」が21.3%と最も高く、さいたま市に行く理由とほぼリンクしている。
- 性年代別で見ると、男性若年層は多様な項目で反応が高いが、女性では、反応の高い項目がない。

【調査年度別】 ※ グラフは次ページに掲載

- 「買物、食事で行ってみたい、行く予定」「観光レジャーに行ってみたい、行く予定」「コンサート、映画で行ってみたい、行く予定」がTOP3であることは、2022年度から変わらない。



Q2 あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に行ってみたいと思いますか。
通勤・通学・通院・仕事等の目的以外でお答えください。また、行ったことがある人も今後の意向としてお答えください。(MA)



※2024年度の値を基準に降順並び替え

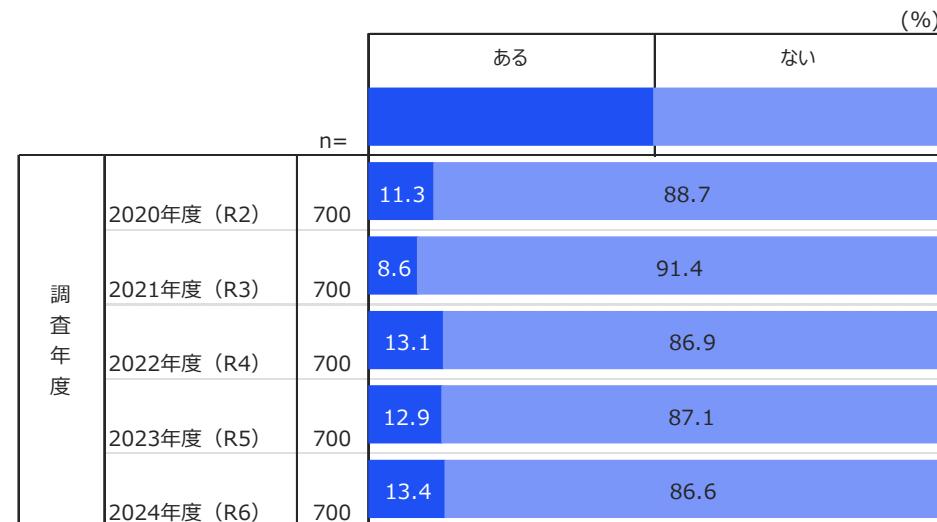
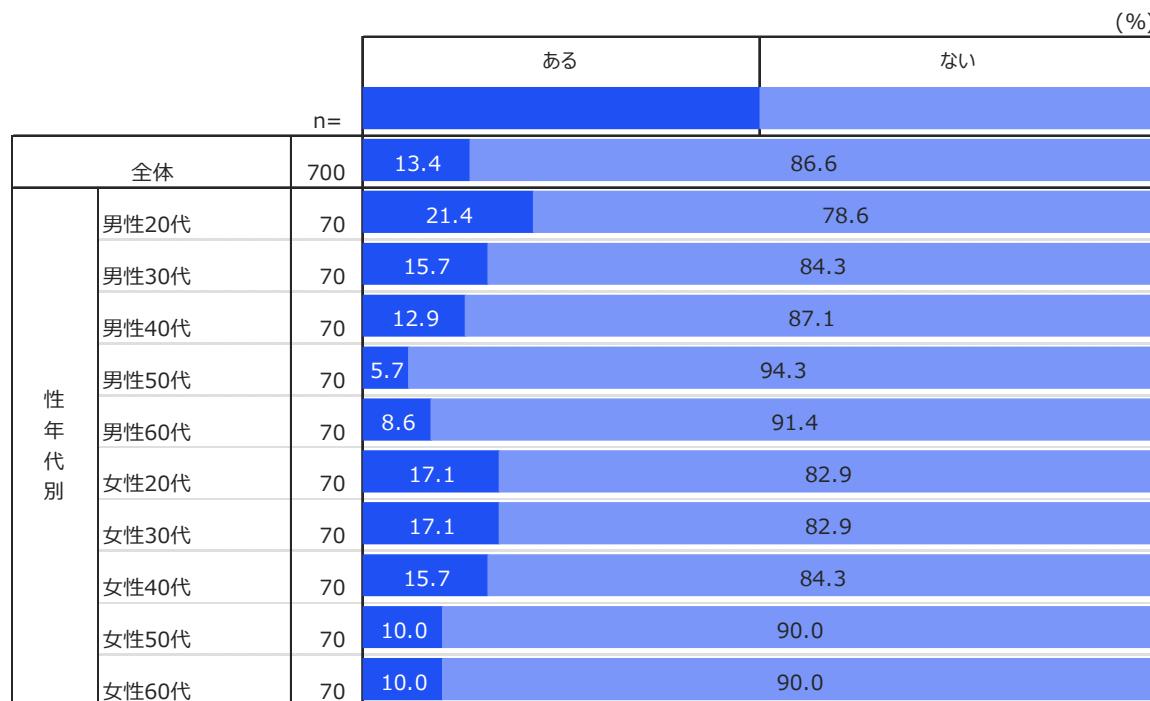
※2021年度は、さいたま市に行ったことがない人のみ対象

SC7 あなたは、さいたま市内（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に住むことを検討したことがありますか。（SA）

- さいたま市への移住検討率は全体で13.4%であった。
- 性年代別で見ると、男女共に20-40代は50代以上と比べて相対的に移住検討率が高い。

【調査年度別】

- 2020年度から大きな変化は見られない。



Q3 あなたが、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）内に住むことを検討した理由について、あてはまるものを全てお選びください。(MA)

- 全体では、「東京へのアクセスがよい」が58.5%と最も高く、「市内での買い物や遊びに便利」（34.0%）、「生活コストが手ごろ」（28.7%）と続く。

【調査年度別】※ グラフは次ページに掲載

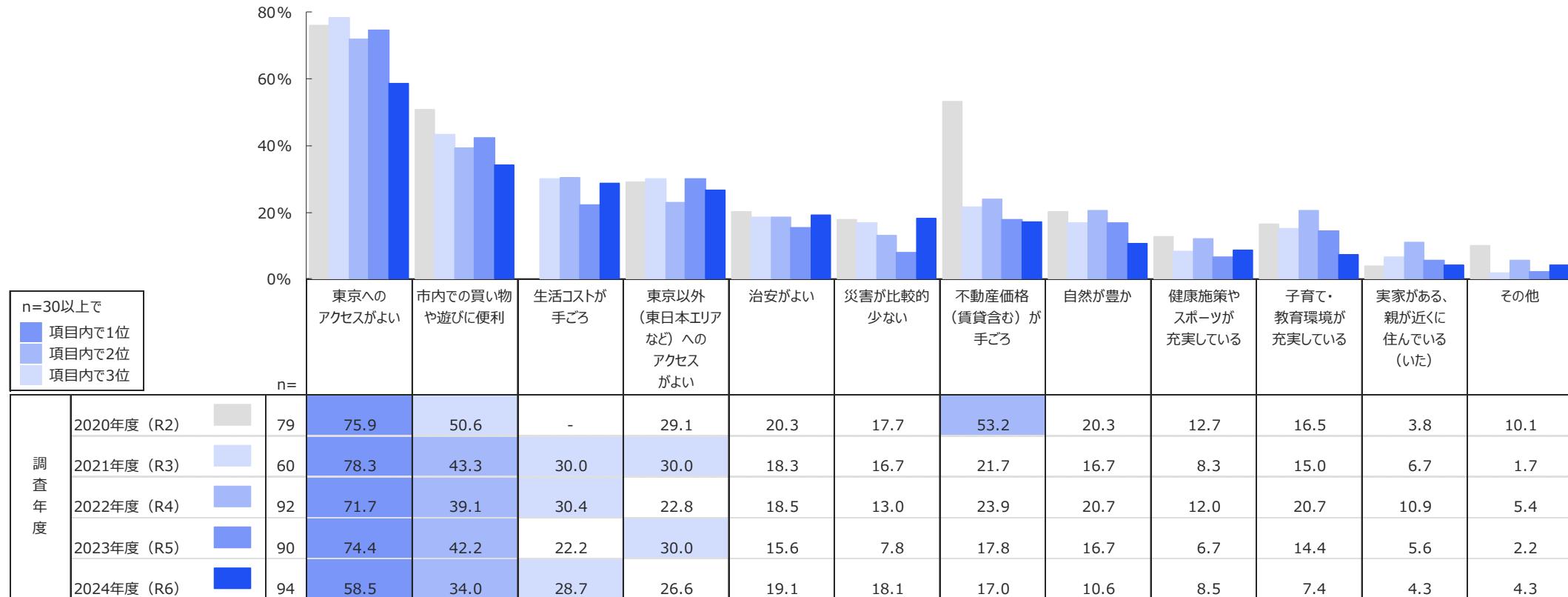
- 「東京へのアクセスがよい」がいずれの年度でもトップであるが、2023年度の74.4%から15.9pt低下し58.5%と、初めて70%を切る。



※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

Q3 あなたが、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）内に住むことを検討した理由について、あてはまるものを全てお選びください。(MA)



※2024年度の値を基準に降順並び替え

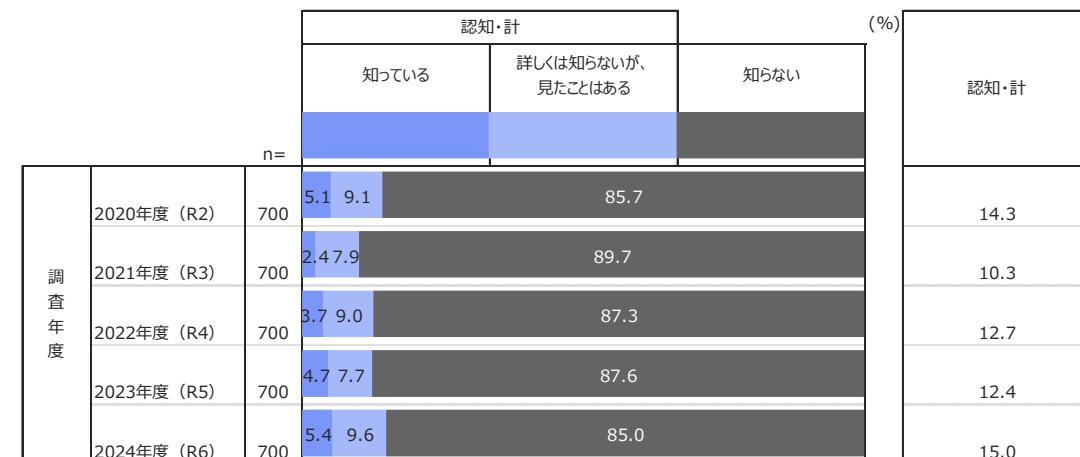
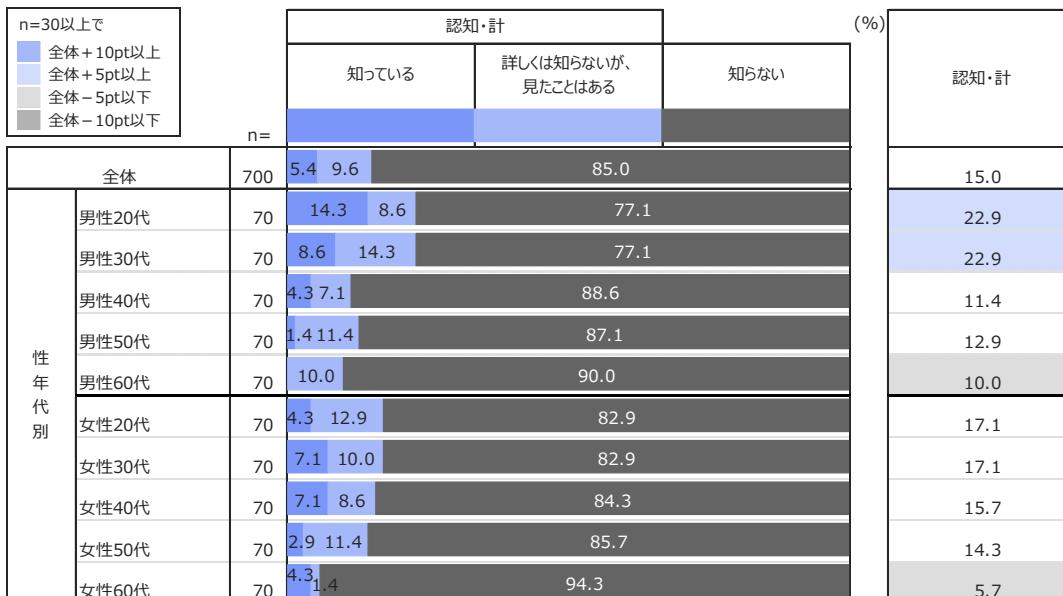
※「不動産価格(賃貸含む)が手ごろ」は 2020年度は「東京よりも物件価格が手ごろ」

SC8 あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）の都市イメージキャッチフレーズ「のびのびシティさいたま市」を知っていますか。（SA）

- 「知っている」と「詳しくは知らないが、見たことはある」を合算した「認知・計」は全体で15.0%であった。
- 性年代別で見ると、男性20-30代の「認知・計」が全体より5pt以上高い。

【調査年度別】

- 「認知・計」は2020年度から大きな変化が見られないが、2023年度から横這いに近い微増を見せ、15.0%と過去最高を示す。



SC9 あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）PRキャラクター「つなが竜ヌウ」を知っていますか。(SA)

- 「知っている」と「詳しくは知らないが、見たことはある」を合算した「認知・計」は全体で、18.4%。
- 性年代別で見ると、男性20代、女性20-30代は「認知・計」が全体より5pt以上高い。

【調査年度別】

- 「認知・計」は2020年度から大きな変化が見られないが、2023年度から微増し、18.4%と過去最高を示す。

		認知・計			(%))
		知っている	詳しくは知らないが、見たことはある	知らない	
n=30以上で					
	全体	700	6.0 12.4	81.6	
性年代別	男性20代	70	18.6 8.6	72.9	18.4
	男性30代	70	11.4 11.4	77.1	27.1
	男性40代	70	4.3 10.0	85.7	22.9
	男性50代	70	4.3 11.4	84.3	14.3
	男性60代	70	7.1	92.9	15.7
	女性20代	70	7.1 18.6	74.3	7.1
	女性30代	70	7.1 18.6	74.3	25.7
	女性40代	70	1.4 17.1	81.4	25.7
	女性50代	70	4.3 11.4	84.3	18.6
	女性60代	70	1.4 10.0	88.6	15.7

		認知・計			(%))
		知っている	詳しくは知らないが、見たことはある	知らない	
n=					

調査年度	n=	認知・計			(%))
		知っている	詳しくは知らないが、見たことはある	知らない	
2020年度 (R2)					
2021年度 (R3)	700	3.6 8.6		87.9	12.1
2022年度 (R4)	700	5.9 11.3		82.9	17.1
2023年度 (R5)	700	5.7 10.1		84.1	15.9
2024年度 (R6)	700	6.0 12.4		81.6	18.4

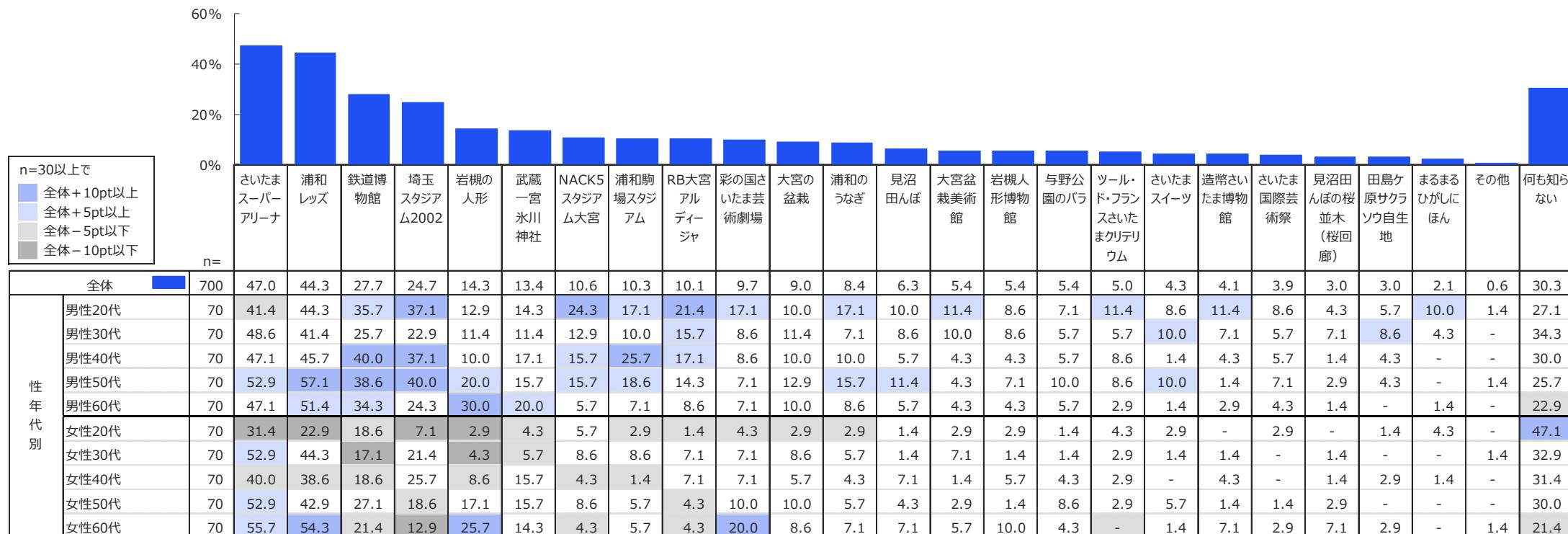
※2020年度は非聴取

Q4 以下のさいたま市内（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）の施設・名所・名物で、あなたが知っているものを全てお選びください。(MA)

- 全体では、「さいたまスーパーアリーナ」が47.0%で最も認知率が高く、「浦和レッズ」（44.3%）、「鉄道博物館」（27.7%）と続く。
- 性年代別で見ると、男性20代はサッカー関連での認知率が高く、女性60代では「浦和レッズ」や「岩槻人形」などの認知率が高い。一方で女性20代は「何も知らない」（47.1%）が突出して高い。

【調査年度別】※ グラフは次ページに掲載

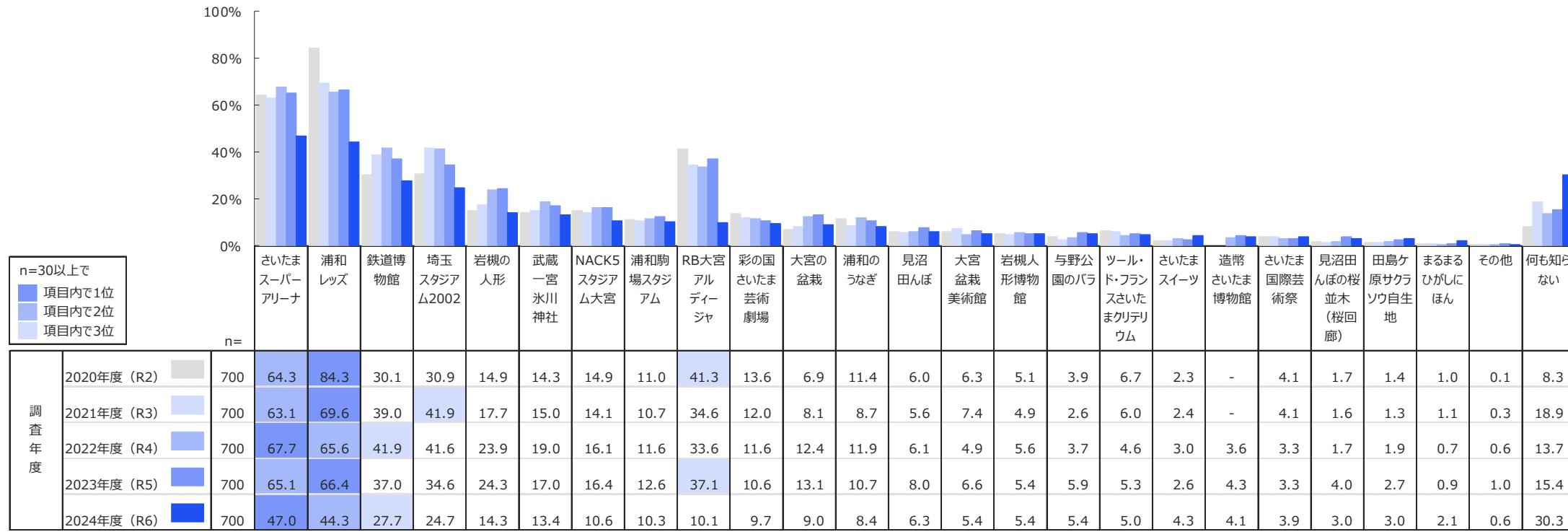
- 過去の調査結果と同様に、「さいたまスーパーアリーナ」、「浦和レッズ」の認知率がTOP2であることに変化はないが、いずれも2023年度から20pt程度認知率が低下している。



※ 全体の値を基準に降順並び替え

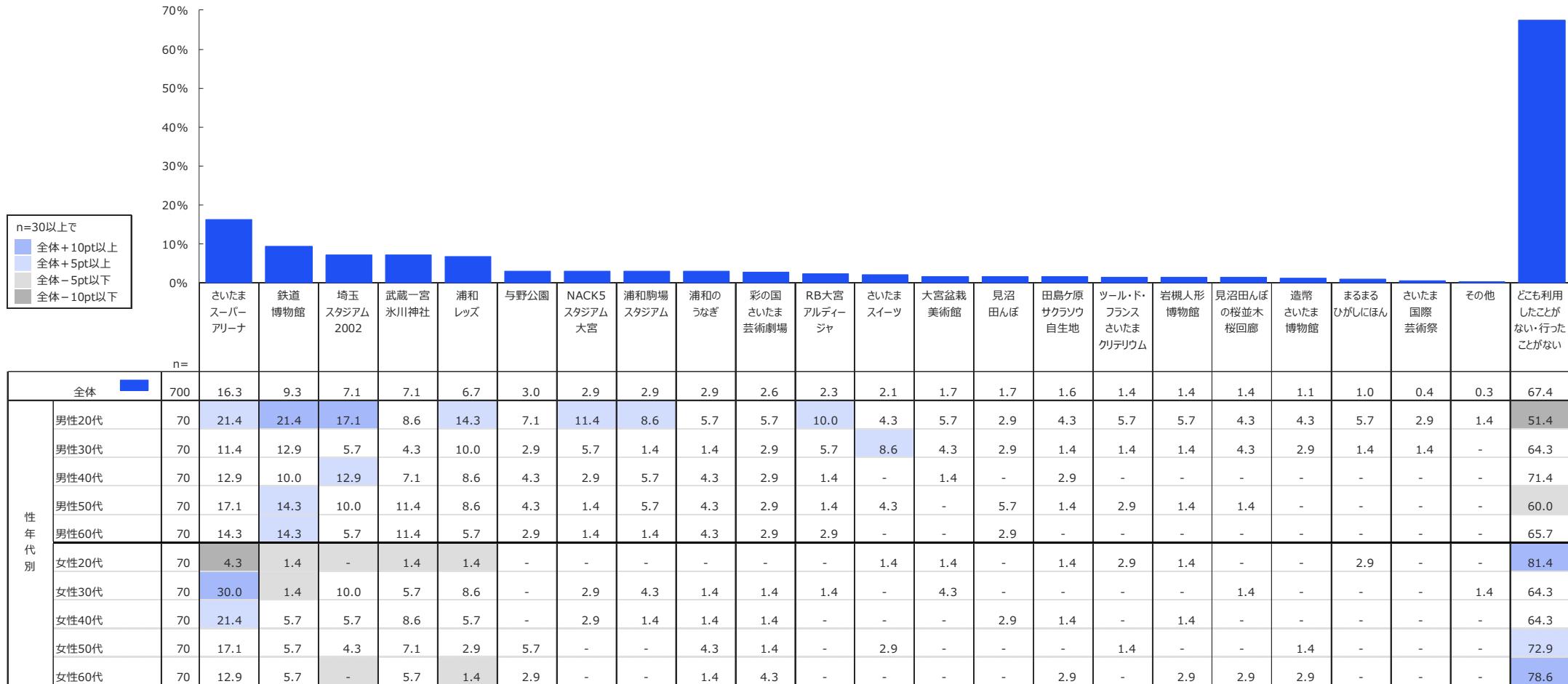
※2024年度から「大宮アルディージャ」から「RB大宮アルディージャ」に変更

Q4 以下のさいたま市内（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）の施設・名所・名物で、あなたが知っているものを全てお選びください。(MA)



Q5_1 以下のさいたま市内（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）の施設・名所・名物で、あなたが利用したことがあるものと今後（も）利用したいものを全てお選びください。／利用経験(MA)

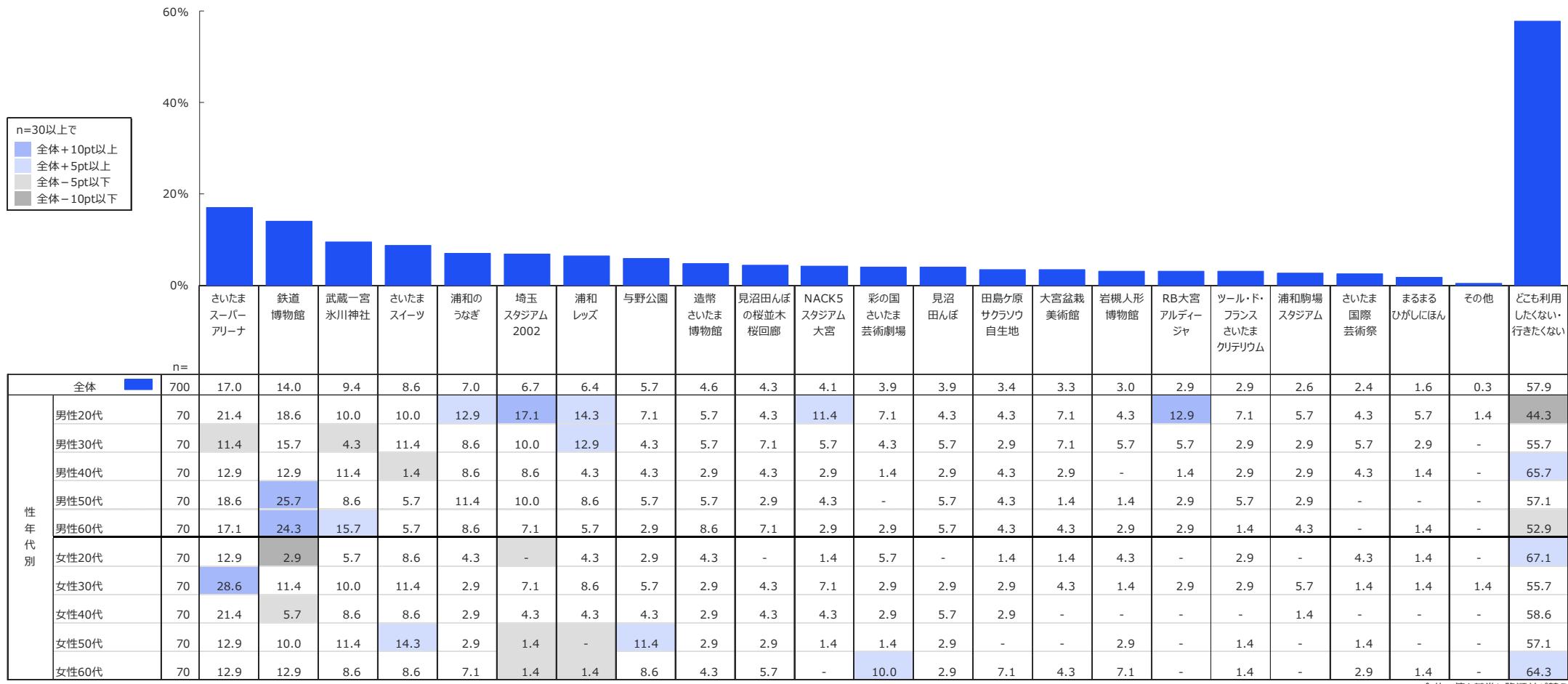
- さいたま市内の各施設・名所・名物の利用経験率は、全体で「さいたまスーパーアリーナ」が16.3%で最も高く、「鉄道博物館」（9.3%）、「埼玉スタジアム2002」（7.1%）「武藏一宮氷川神社」（7.1%）と続く。
- 性年代別で見ると、男性20代は、スタジアムなどのサッカー関連で反応が高く、女性30-40代で「さいたまスーパーアリーナ」の反応が高い。一方で女性20代は「どこも利用したことがない・行ったことがない」（81.4%）が他の性年代と比べて高い。



※全体の値を基準に降順並び替え

Q5_2 以下のさいたま市内（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）の施設・名所・名物で、あなたが利用したことがあるものと今後（も）利用したいものを全てお選びください。／今後利用意向（MA）

- さいたま市内の各施設・名所・名物の今後利用意向は全体で、「さいたまスーパーアリーナ」が17.0%で最も高く、「鉄道博物館」（14.0%）、「武藏一宮氷川神社」（9.4%）と続く。
- 性年代別で見ると、男性20代はサッカー関連の項目、男性50-60代は「鉄道博物館」、女性30代は「さいたまスーパーアリーナ」、女性60代は「彩の国さいたま芸術劇場」への反応が高く、特徴的。



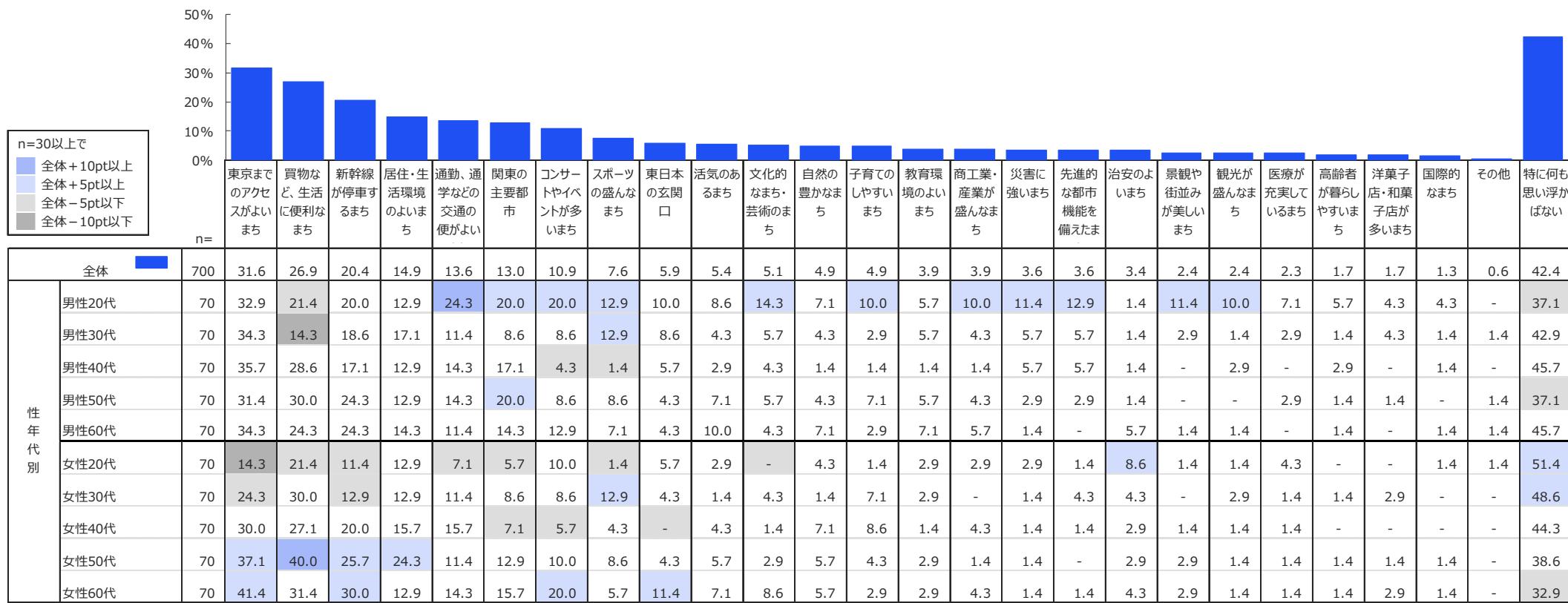
※全体の値を基準に降順並び替え

Q6 さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）について、どのようなイメージを持っていますか。（MA）

- さいたま市のイメージは、全体で、「東京までのアクセスがよいまち」が31.6%で最も高く、「買物など、生活に便利なまち」（26.9%）、「新幹線が停車するまち」（20.4%）と続く。
- 性年代別で見ると、男性20代は多様な項目で反応が高いが、「通勤、通学などの交通の便がよい」が特に反応が高く、女性50代では、「買物など、生活に便利なまち」の反応が高い。また男性20・50代からは「関東の主要都市」とも評価されている。女性20代はさいたま市へのイメージをあまり持っていないが、「治安のよいまち」はへの反応は、他性年代と比べて若干高い。

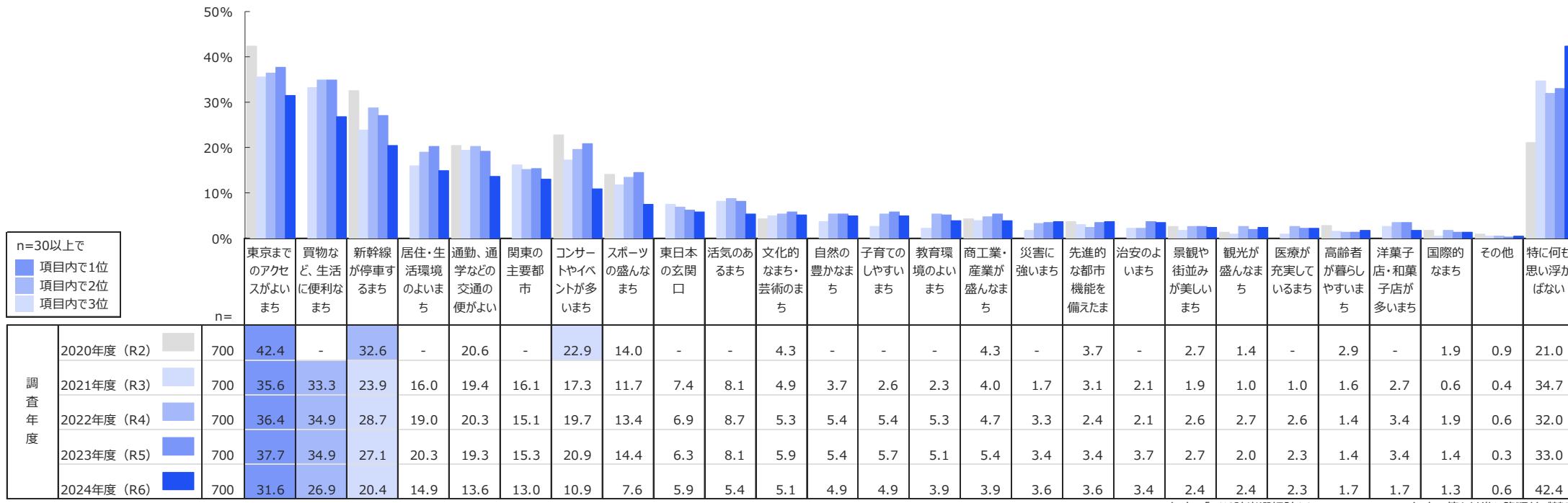
【調査年度別】 ※ グラフは次ページに掲載

- 21年度から上位3項目は変わらないが、いずれの項目も2023年度から5pt程度低下している。



※全体の値を基準に降順並び替え

Q6 さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）について、どのようなイメージを持っていますか。（MA）



※2020年度の「-」は該当選択肢なし

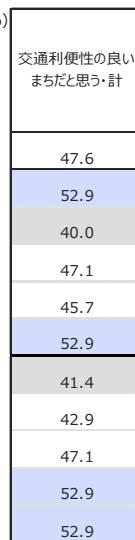
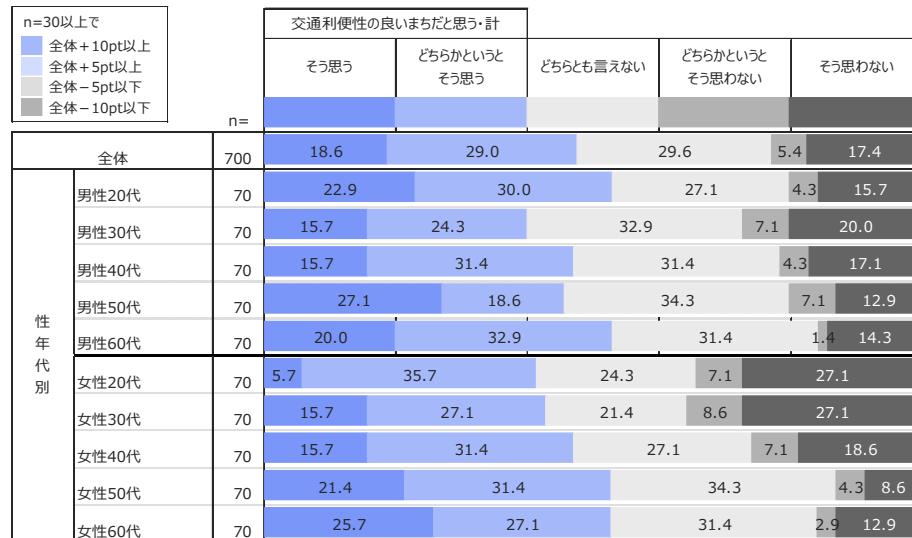
※2024年度の値を基準に降順並び替え

Q7 あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）を「交通利便性の良いまち」だと思いますか。住んでいない人もイメージでお答えください。(SA)

- 全体で「交通利便性の良いまちだと思う・計」は47.6%であった。
- 性年代別で見ると、男性20代・60代、女性50-60代で「交通利便性の良いまちだと思う・計」が全体より5pt以上高い。

【調査年度別】

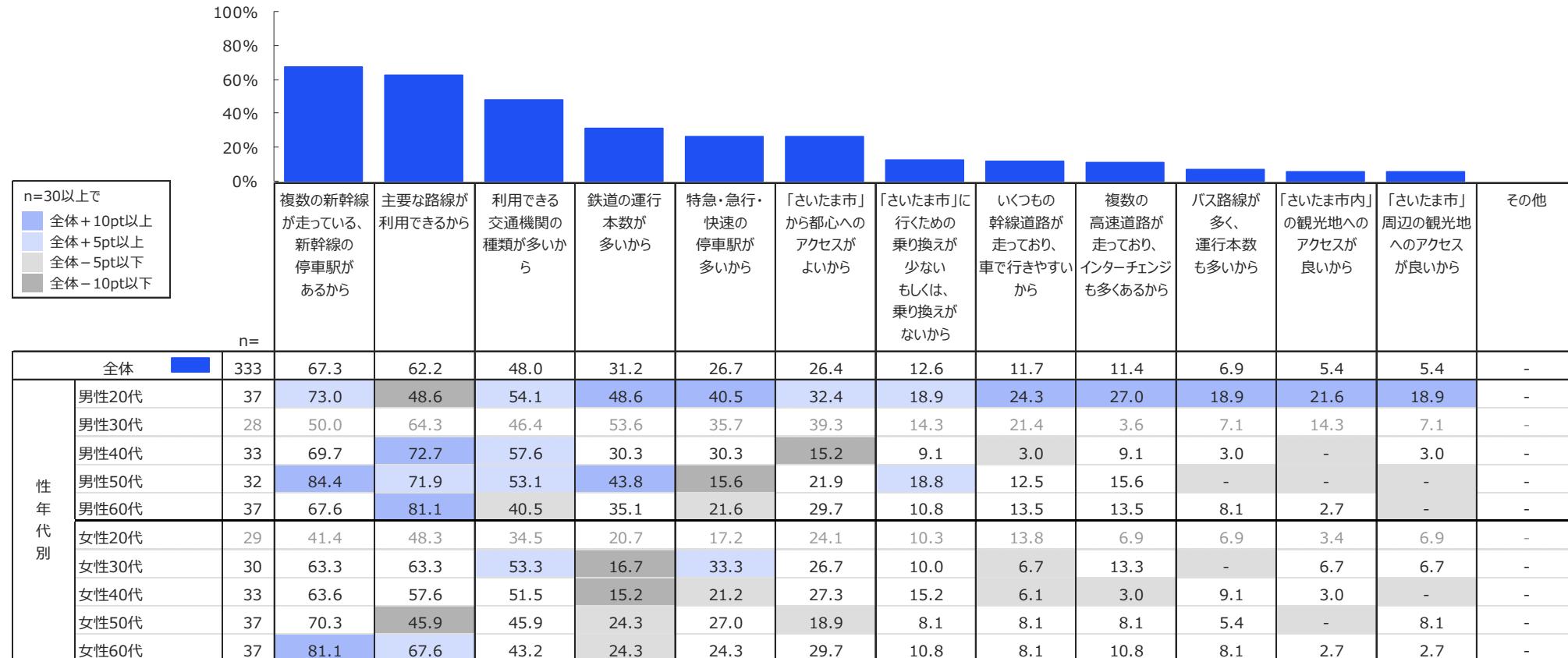
- 「交通利便性の良いまちだと思う・計」が2021年度から漸減傾向を示し、2024年は47.6%と、初めて50%を切る。



Q8 あなたがさいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）の交通の利便性が良いと思った理由について、あてはまるものを全てお選びください。(MA)

- 交通利便性の良いまちだと思う理由は、全体で、「複数の新幹線が走っている、新幹線の停車駅があるから」が67.3%で最も高く、「主要な路線が利用できるから」(62.2%)、「利用できる交通機関の種類が多いから」(48.0%)と続く。
- 性年代別で見ると、男性20代は多様な項目への反応が高いが、女性は全般的に反応が低い。

※ 選択肢の大幅な変更を行ったため、時系列比較は割愛しております。

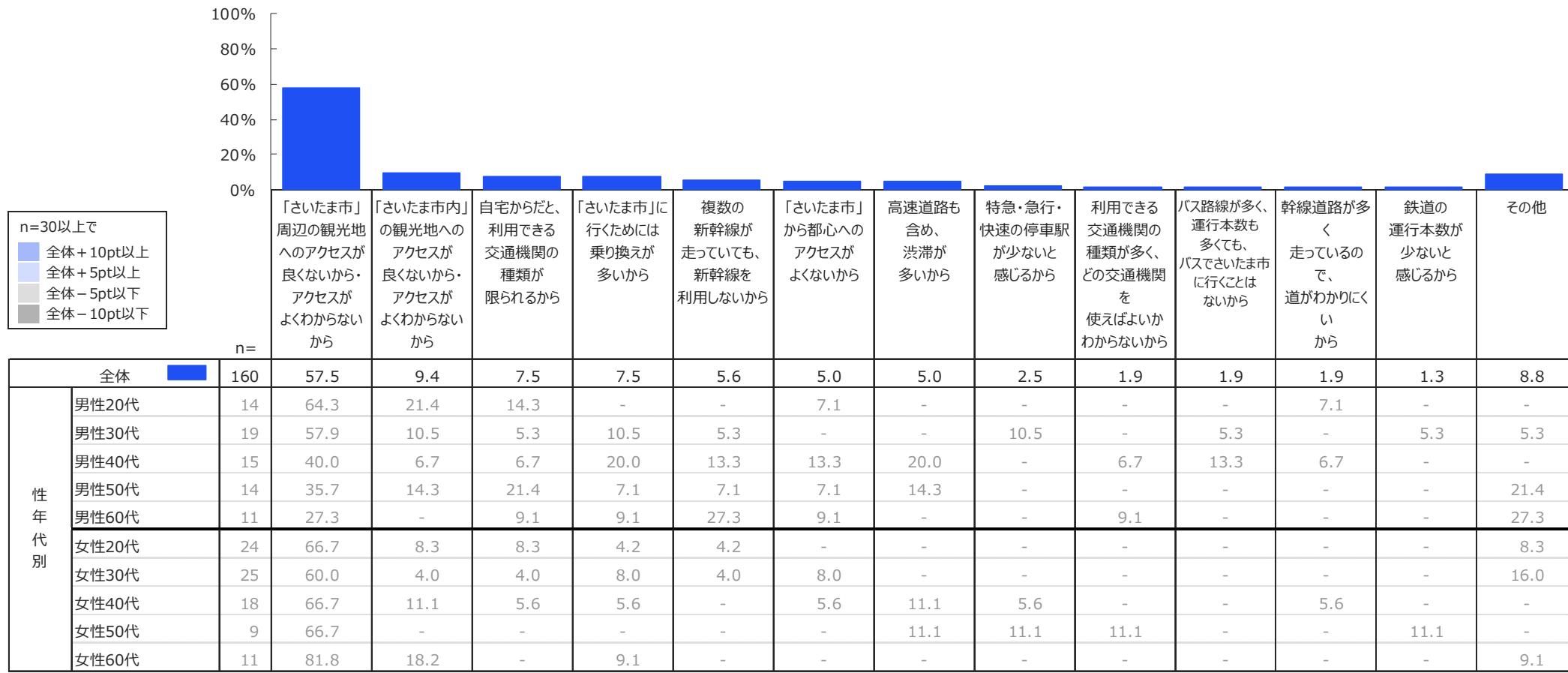


※n=30未満は参考値のため灰色。

※全体の値を基準に降順並び替え

Q9 あなたがさいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）の交通の利便性が良いと思わない理由について、あてはまるものを全てお選びください。(MA)

- 交通利便性が良いと思わない理由は全体で、「さいたま市周辺の観光地へのアクセスが良くないから・アクセスがよくわからないから」が57.5%で飛び抜けて高い。
- 「さいたま市周辺の観光地へのアクセスが良くないから・アクセスがよくわからないから」以外の項目は1割以下であることから、周辺観光地へのアクセスに関する情報発信等の改善が必要であると考えられる。



※n=30未満は参考値のため灰色。

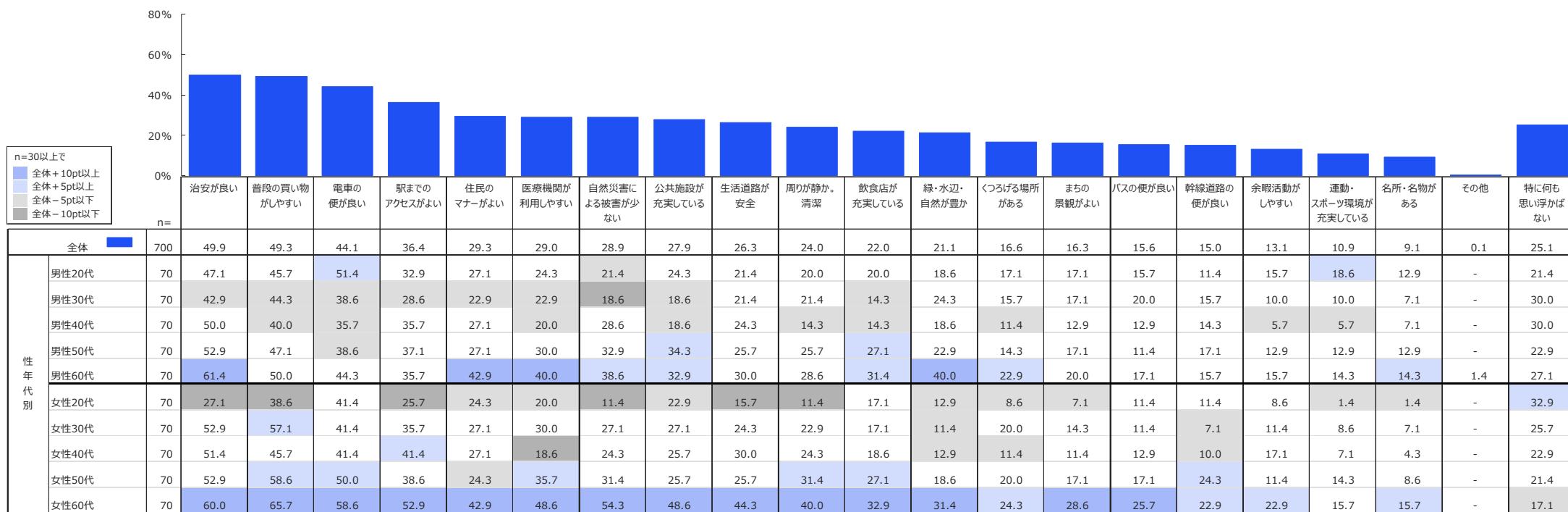
※全体の値を基準に降順並び替え

Q10 あなたにとって、「住みやすいまち」とはどのようなまちですか。(MA)

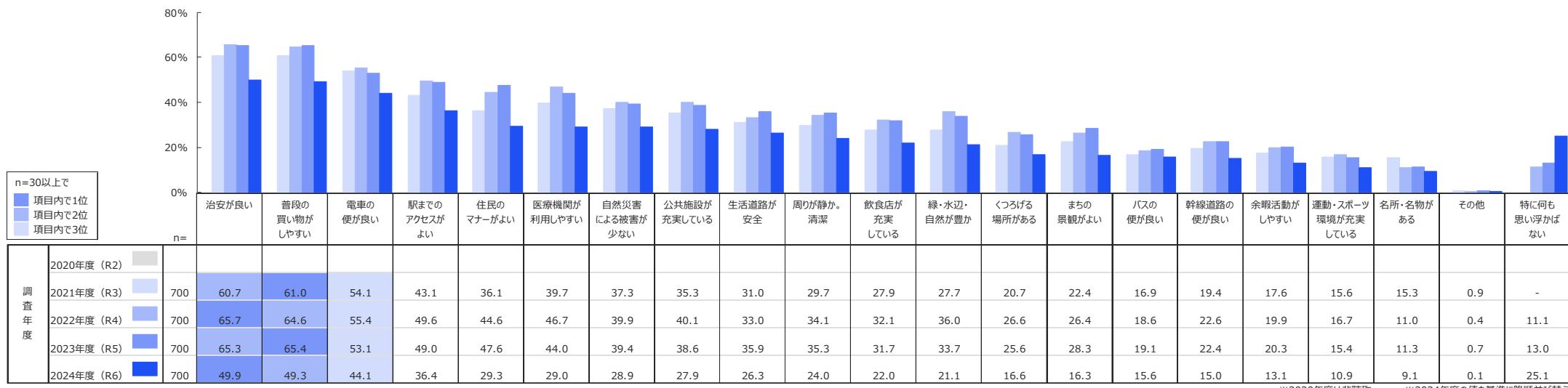
- 住みやすいまちとされる要因は、全体で、「治安が良い」が49.9%で最も高く、「普段の買い物がしやすい」(49.3%)、「電車の便が良い」(44.1%)と続く。
- 性年代別で見ると、男女60代は多様な項目で反応を示すが、男女の若年層は反応を示した項目が少なく、「住みやすい」ことへの意識が定まっていない。

【調査年度別】※ グラフは次ページに掲載

- 上位3項目は2021年度から数値の変動はあっても、TOP3であることは変わらない。
- しかし、TOP3の項目はそれぞれ9pt~16ptの間で減少しており、「住みやすいまち」に対するイメージが希薄化している。



Q10 あなたにとって、「住みやすいまち」とはどのようなまちですか。(MA)

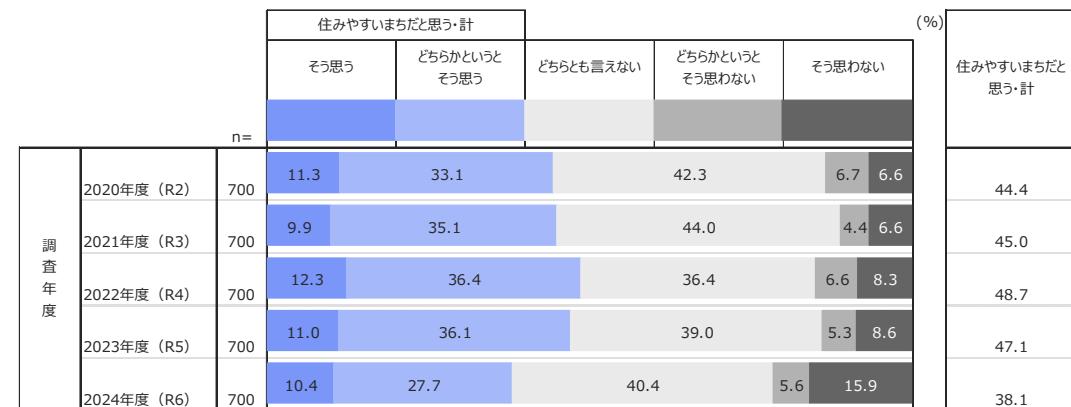
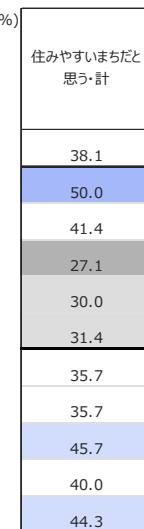
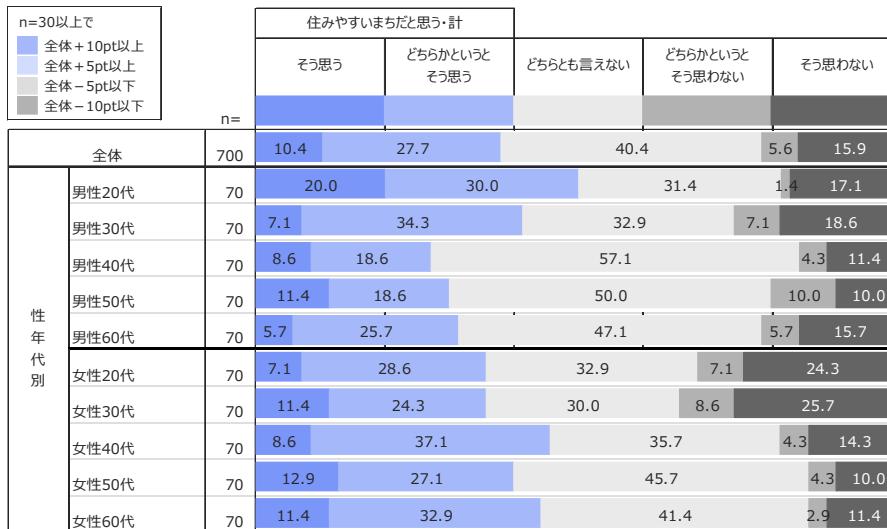


Q11 あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）を「住みやすいまち」だと思いますか。また、行ったことがない方もイメージでお答えください。(SA)

- さいたま市を「住みやすいまちだと思う・計」は全体で38.1%。
- 性年代別で見ると、男性20代が「住みやすいまちだと思う・計」が唯一5割となった。

【調査年度別】

- 「住みやすいまちだと思う・計」は2020年度から2022年度にかけて漸増傾向を示していたが、2022年度から2023年度にかけては逆に漸減傾向を示し、2024年度は2023年度から9.0pt減少し38.1%となり、過去最低となった。

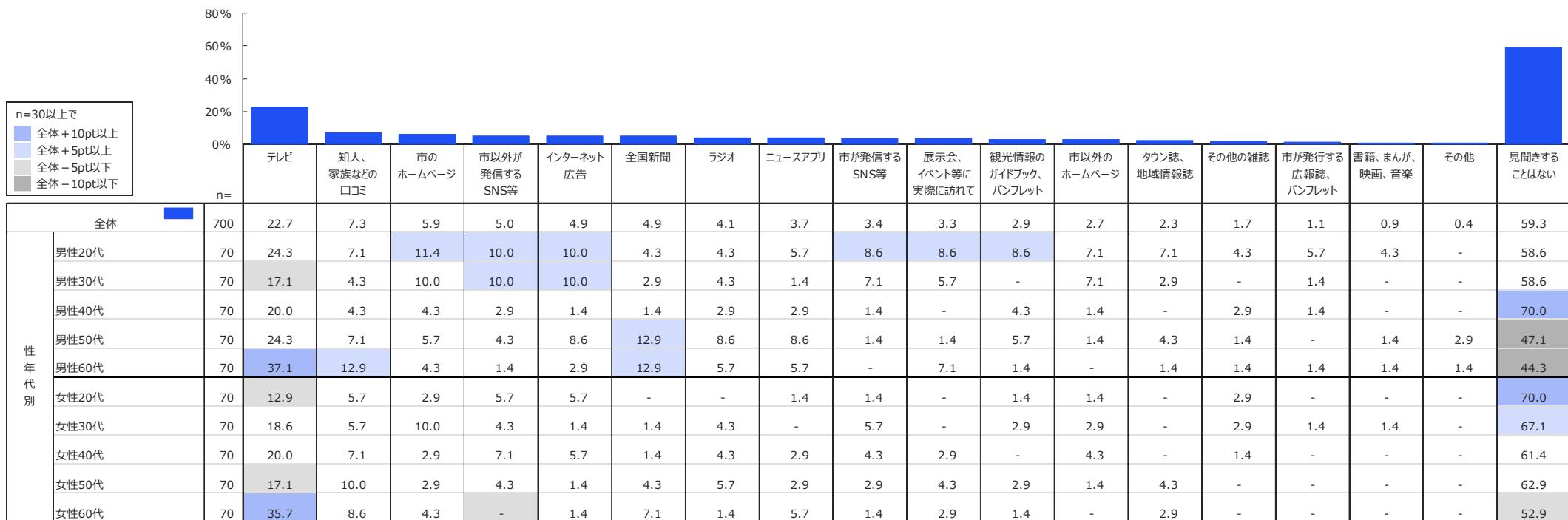


Q12 あなたは普段、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に関する情報（話題やニュース）をどこで見聞きしていますか。（MA）

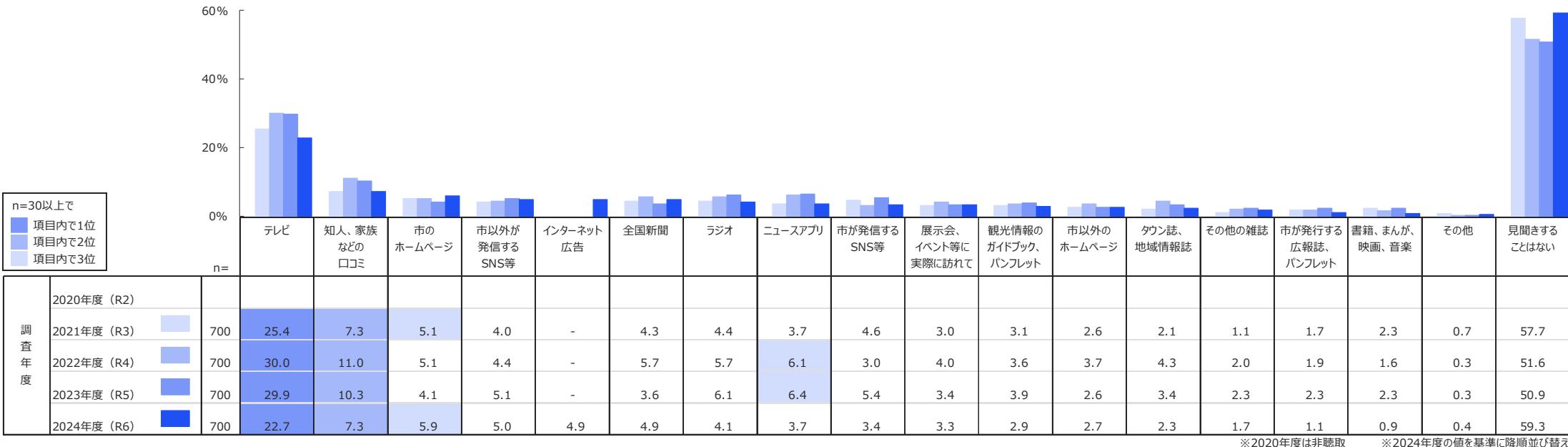
- さいたま市に関する情報接触は、全体で、「テレビ」が22.7%と飛び抜けて高い。一方で半数以上の人人が「見聞きすることはない」（59.3%）と回答している。
- 性年代別で見ると、男性若年層は、市が発信する情報だけでなく、展示会やイベント・観光情報にも接している。

【調査年度別】※ グラフは次ページに掲載

- いずれの年度も「テレビ」が1位で、「知人、家族などの口コミ」が2位であることは同じ。「テレビ」と「知人、家族などの口コミ」の差が大きいことも同じで、「テレビ」が主な情報入手経路となっている。



Q12 あなたは普段、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に関連する情報（話題やニュース）をどこで見聞きしていますか。(MA)

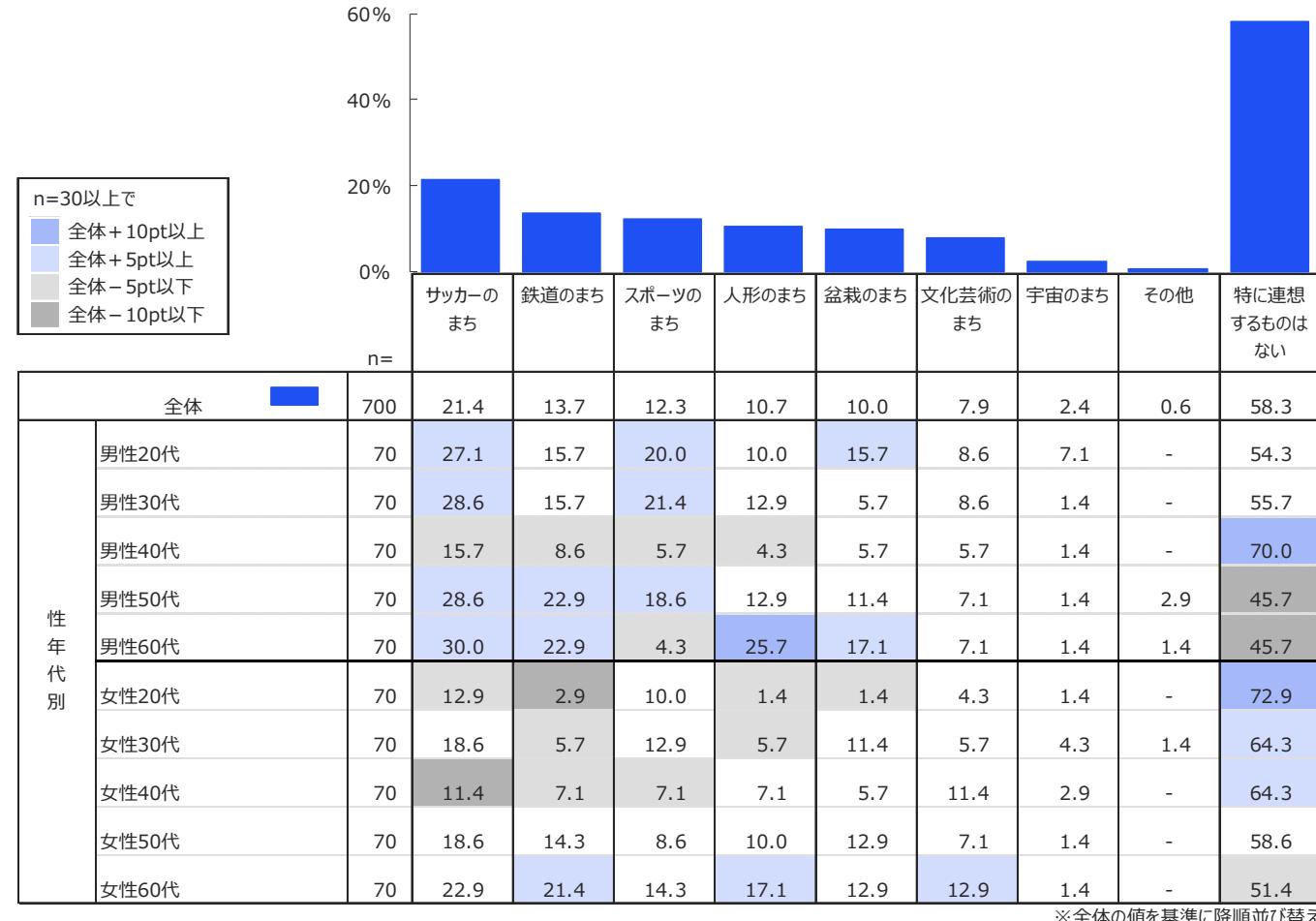


Q13 以下の項目のうち、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）を連想するものを選んでください。(MA)

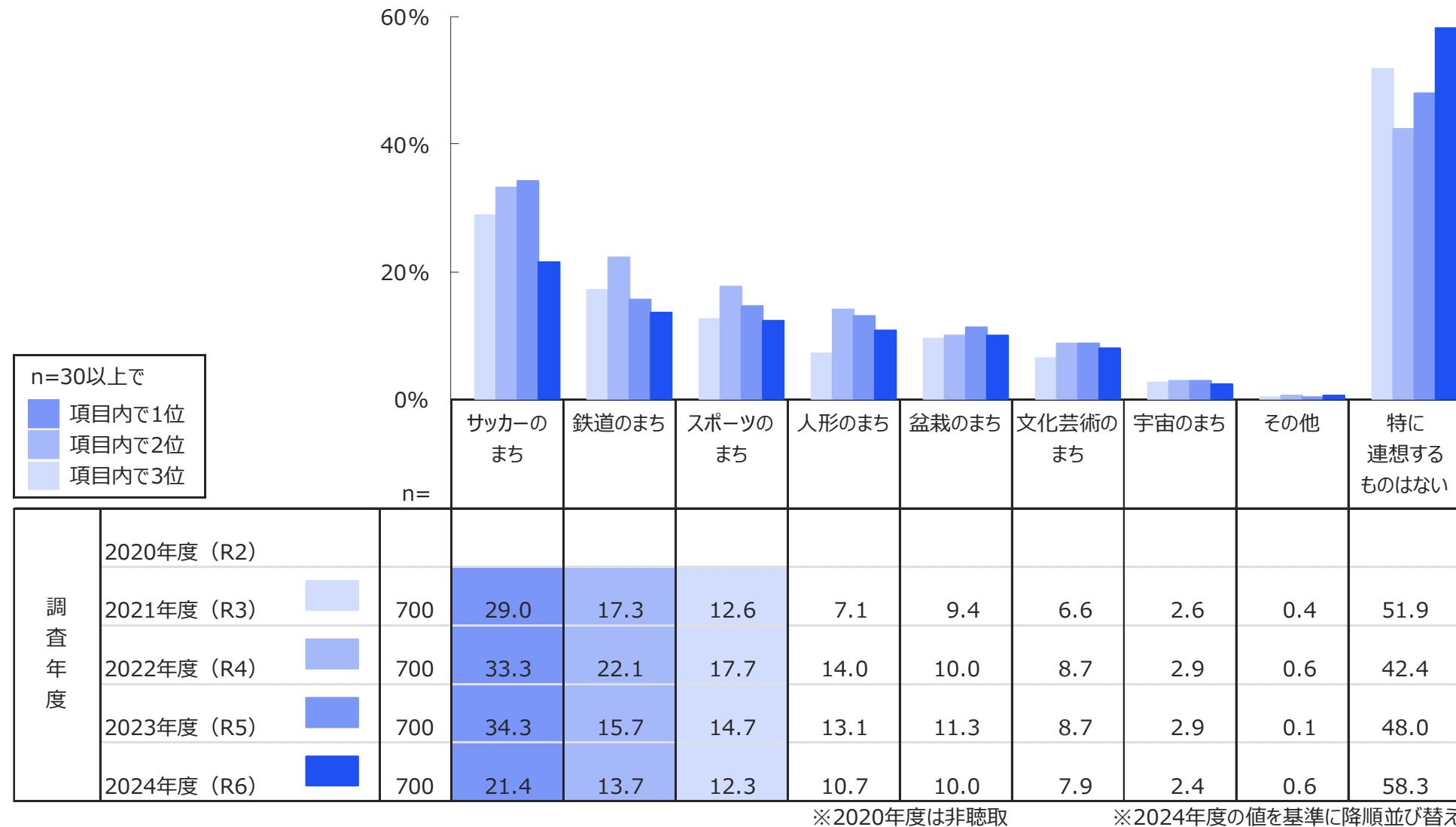
- さいたま市を連想するものは、全体で、「サッカーのまち」が21.4%で最も高く、「鉄道のまち」（13.7%）、「スポーツのまち」（12.3%）と続く。
- 性年代別で見ると、男性はサッカーやスポーツを連想する傾向にあるが、女性はさいたま市といえばという結びつきがあまり見られない。

【調査年度別】 ※ グラフは次ページに掲載

- 「サッカーのまち」「鉄道のまち」「スポーツのまち」がTOP3であることは、2021年度から変わっていない。



Q13 以下の項目のうち、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）を連想するものを選んでください。(MA)

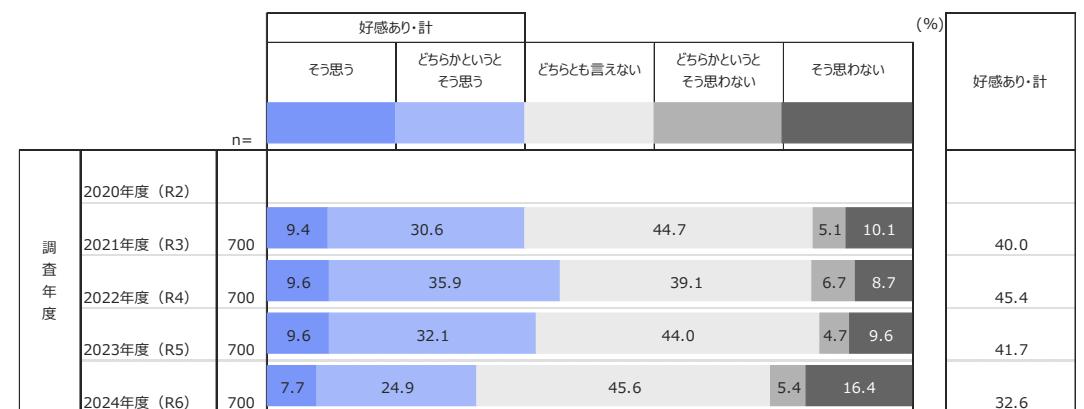
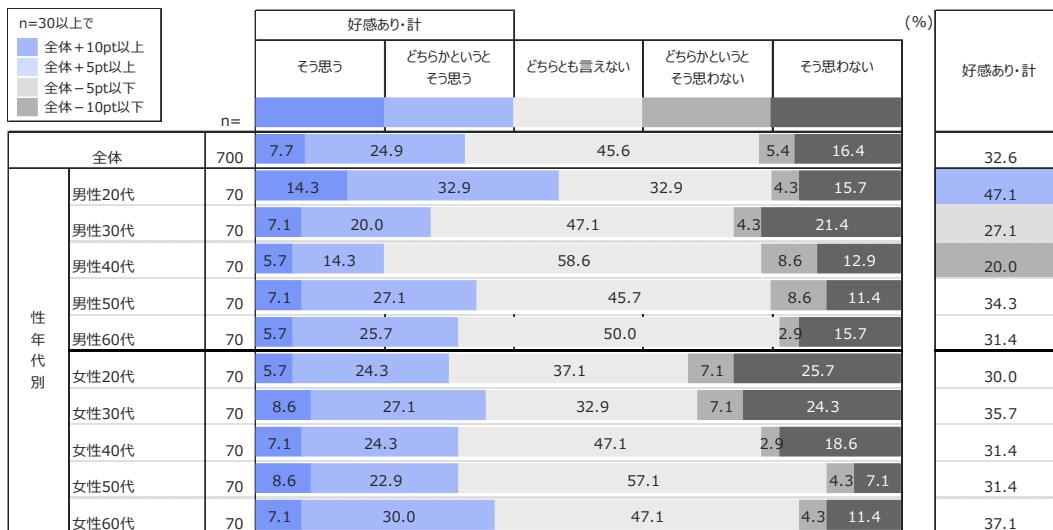


Q14 あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に好感を持っていますか。（SA）

- さいたま市への「好感あり・計」は、全体で、32.6%であった。
- 性年代別で見ると、男性20代は「好感あり・計」が5割弱あるが、男性30-40代は3割を下回った。

【調査年度別】

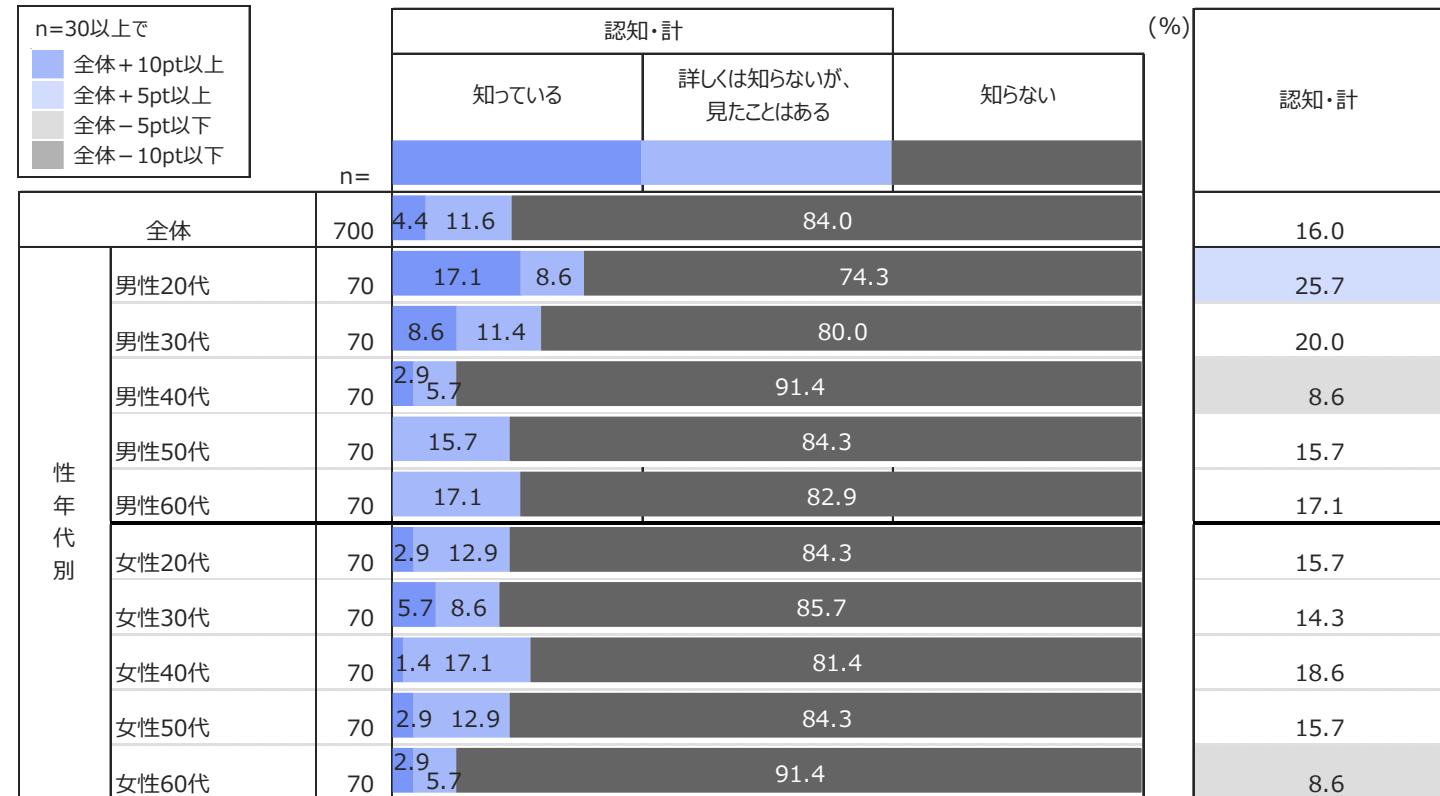
- 2024年度は、「好感あり・計」が2023年度から9.1pt低下し、32.6%と初めて40%を切った。反対に「そう思わない」が、2024年度は6.8pt増加し、16.4%と初めて1割を超えた。



Q15 さいたま市はキャッチフレーズ「のびのびシティさいたま市」を基に、進化・発展を目指しています。
あなたはこのキャッチフレーズとコンセプトを知っていますか。(SA)

- 全体で「知っている」と「詳しくは知らないが、見たことはある」を合算した「認知・計」は16.0%であった。
- 性年代別で見ると、男性20代の認知・計が相対的に高いのに対し、男性40代と女性60代の認知・計が低い。

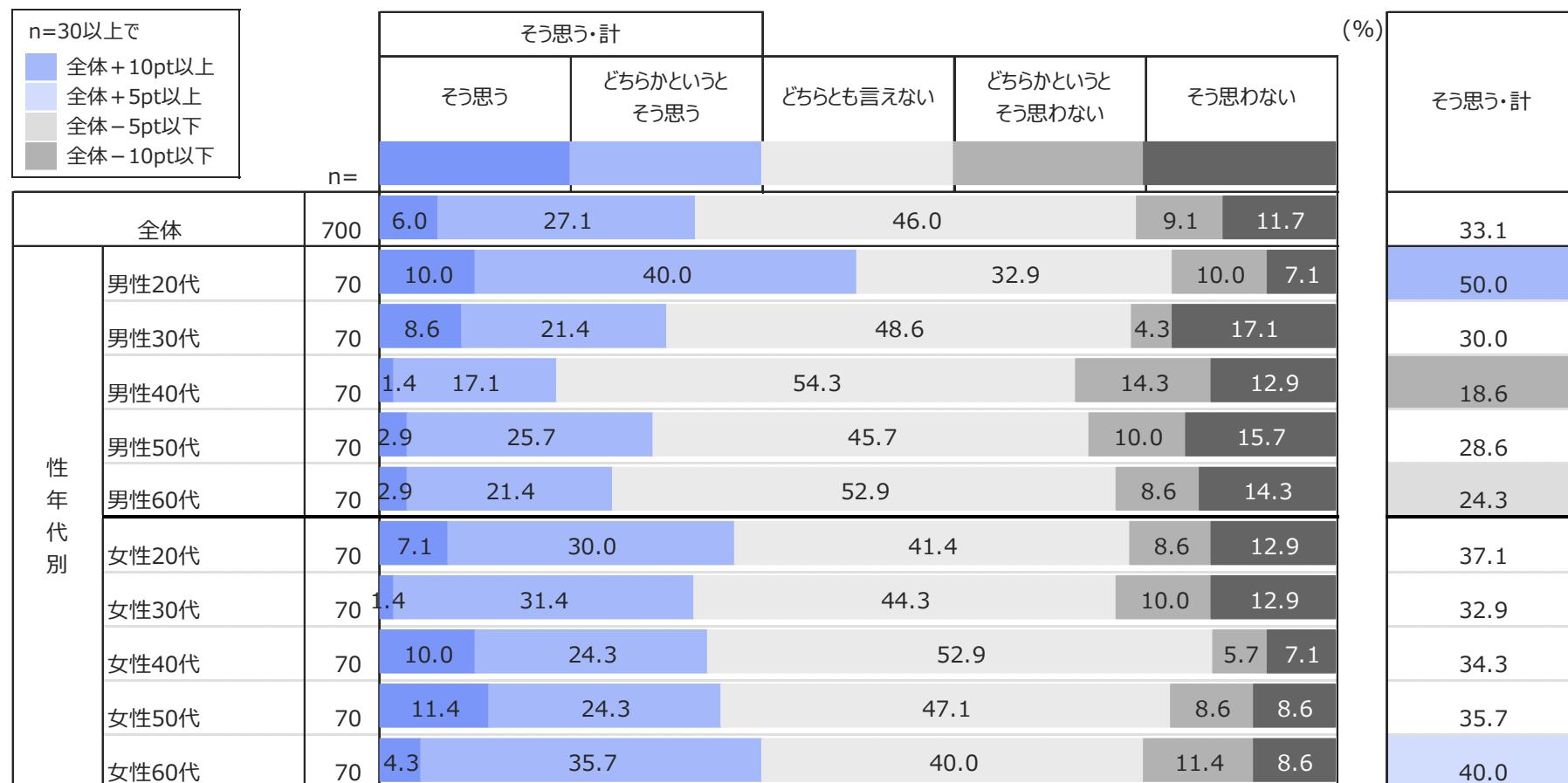
※ 2024年度から測定を開始したため、時系列比較はありません。



Q16_1 さいたま市はキャッチフレーズ「のびのびシティさいたま市」を基に、進化・発展を目指しています。
 あなたはこのキャッチフレーズとコンセプトを見て、どのような印象を持ちましたか。
 ／さいたま市の姿勢に関心を持てる(SA)

- 全体で「そう思う」と「どちらかというとそう思う」を合算した「そう思う・計（関心率）」は33.1%であった。
- 性年代別で見ると、男性20代の「そう思う・計」が50.0%と半数が関心をもっている。女性60代の関心率も40.0%と相対的に高い。それに対し、男性40・60代の関心率が相対的に低い。

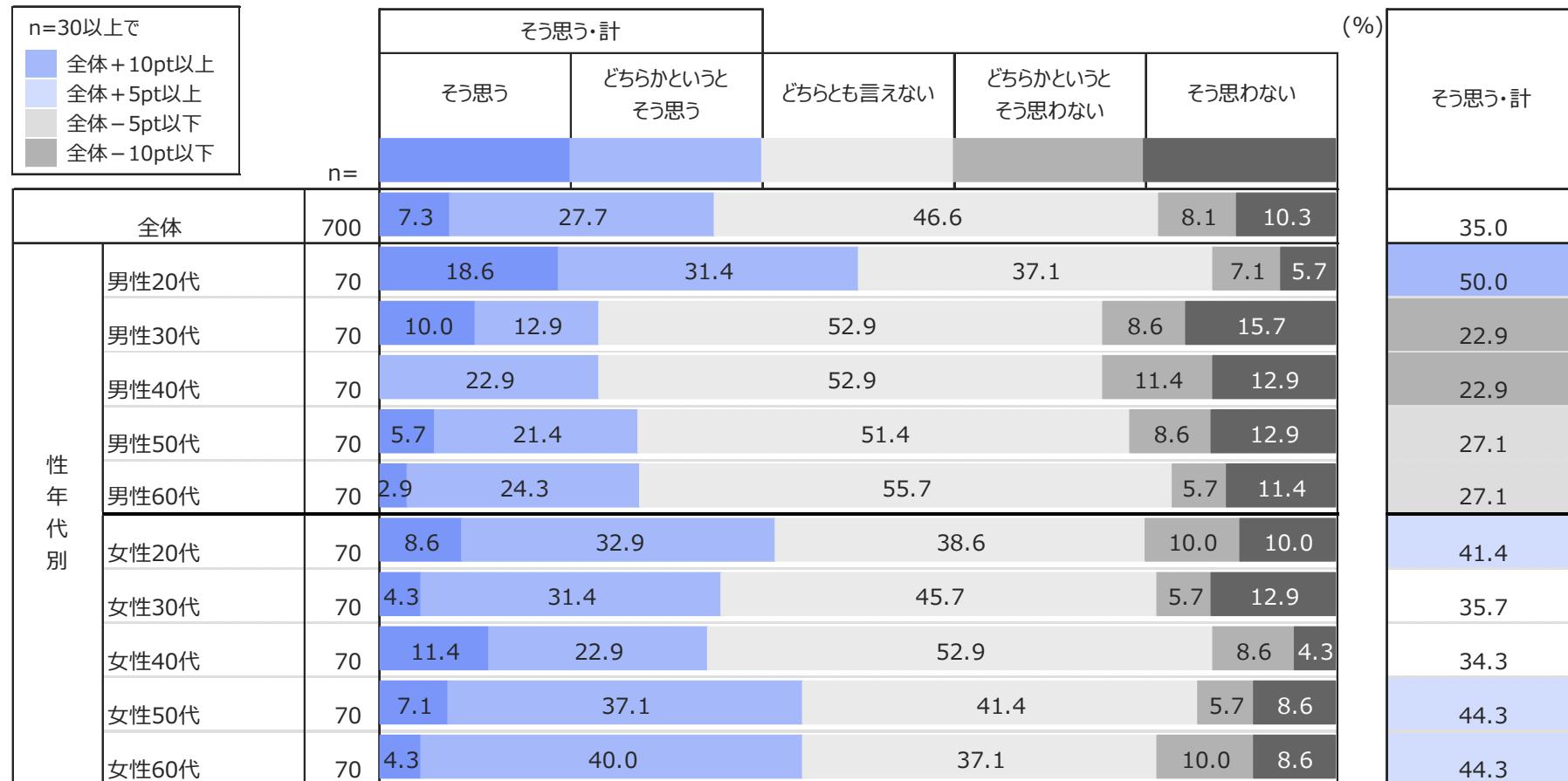
※ 2024年度から測定を開始したため、時系列比較はありません。



Q16_2 さいたま市はキャッチフレーズ（のびのびシティ）を基に、進化・発展を目指しています。
 あなたはこのキャッチフレーズとコンセプトを見て、どのような印象を持ちましたか。
 ／さいたま市の姿勢に共感できる(SA)

- 全体で「そう思う」と「どちらかというとそう思う」を合算した「そう思う・計（共感率）」は35.0%であった。
- 性年代別で見ると、男性20代の「そう思う・計」が50.0%と半数が共感している。女性50-60代の共感率も44.3%と相対的に高い。それに対し、男性30-60代の共感率が相対的に低い。

※ 2024年度から測定を開始したため、時系列比較はありません。



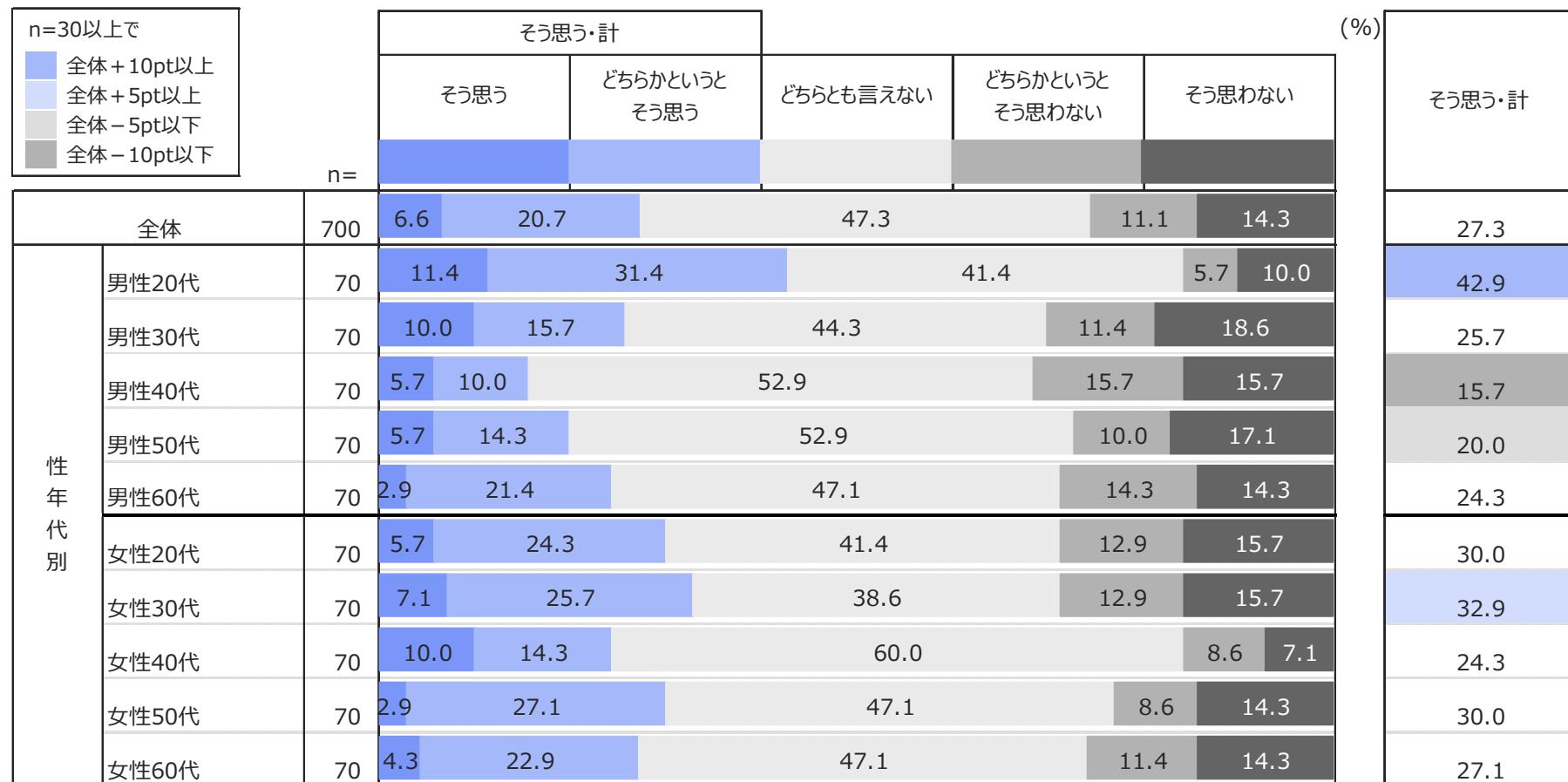
Q16_3 さいたま市は下記に挙げたキャッチフレーズを基に、進化・発展を目指しています。

あなたはこのキャッチフレーズとコンセプトを見て、どのような印象を持ちましたか。

／さいたま市に行ってみたいと思う気持ちが芽生えた(SA)

- 全体で「そう思う」と「どちらかというとそう思う」を合算した「そう思う・計（訪問意向）」は27.3%であった。
- 性年代別で見ると、男性20代の「そう思う・計」が42.9%で訪問意向が最も高い。女性30代の訪問意向も32.9%と相対的に高い。それに対し、男性40-50代の訪問意向が相対的に低い。

※ 2024年度から測定を開始したため、時系列比較はありません。



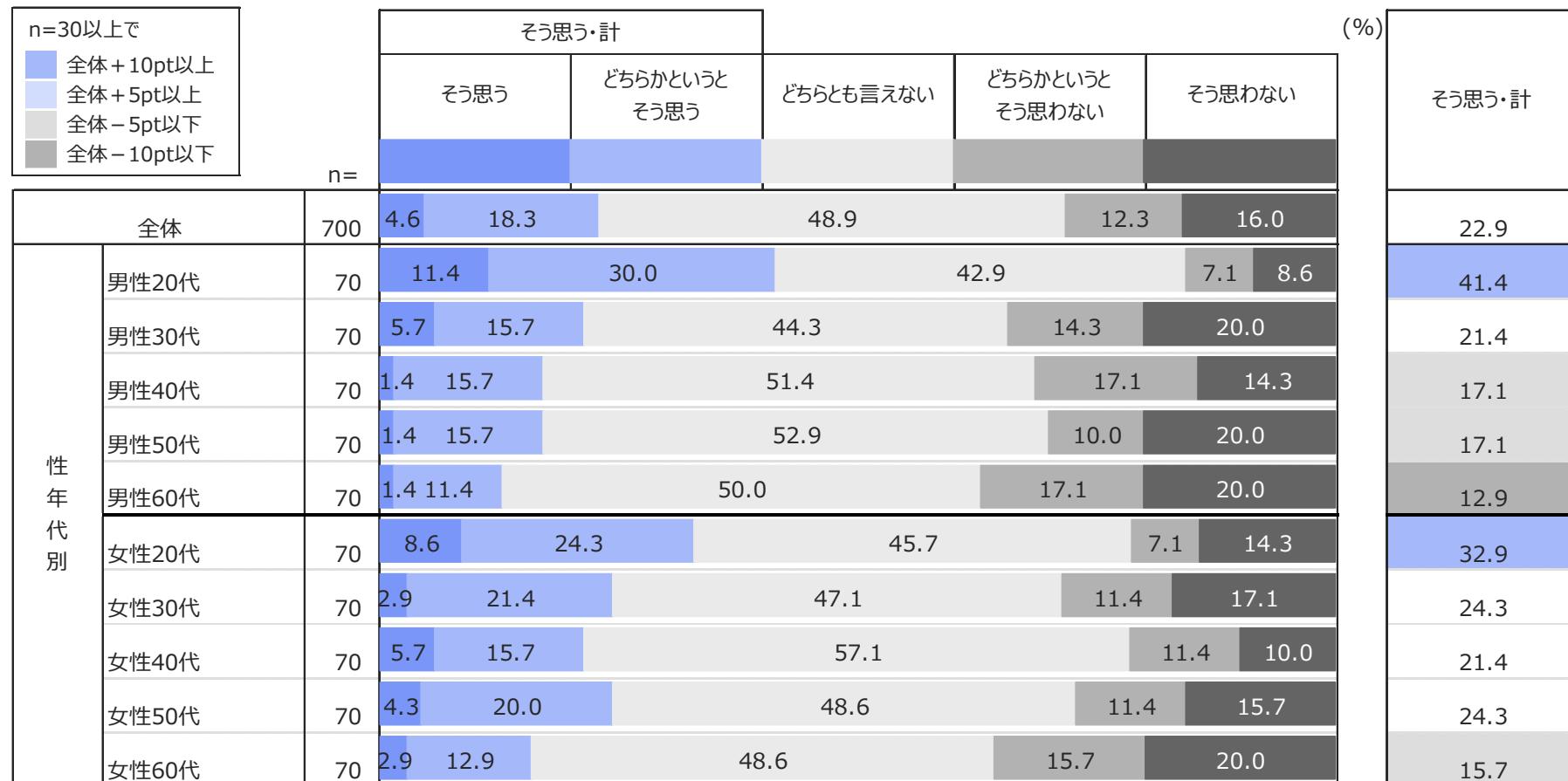
Q16_4 さいたま市は下記に挙げたキャッチフレーズを基に、進化・発展を目指しています。

あなたはこのキャッチフレーズとコンセプトを見て、どのような印象を持ちましたか。

／将来的にさいたま市に住んでみてもよいと思う気持ちが芽生えた(SA)

- 全体で「そう思う」と「どちらかというとそう思う」を合算した「そう思う・計（居住意向）」は22.9%であった。
- 性年代別で見ると、今までと同様に男性20代が最も居住意向が高い。女性20代の居住意向も全体を10.0pt上回っている。それに対し、男性40-60代、女性60代の居住意向が相対的に低い。

※ 2024年度から測定を開始したため、時系列比較はありません。



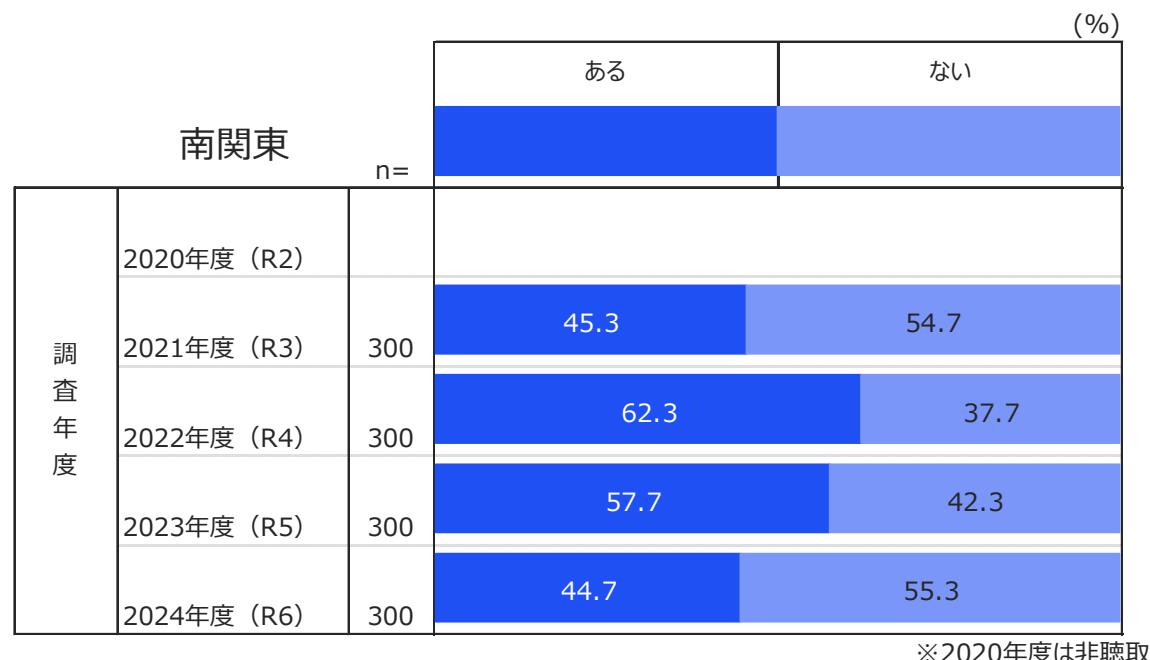
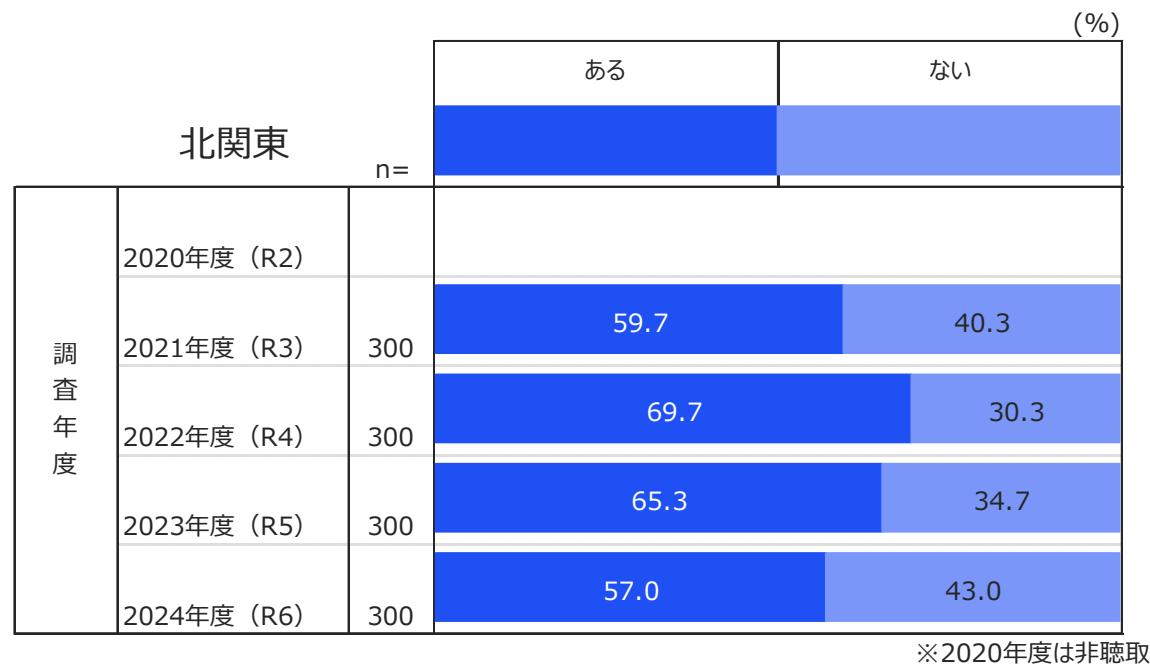
【参考資料1】居住地別比較（北関東/南関東別）

北関東：群馬県、栃木県、茨城県

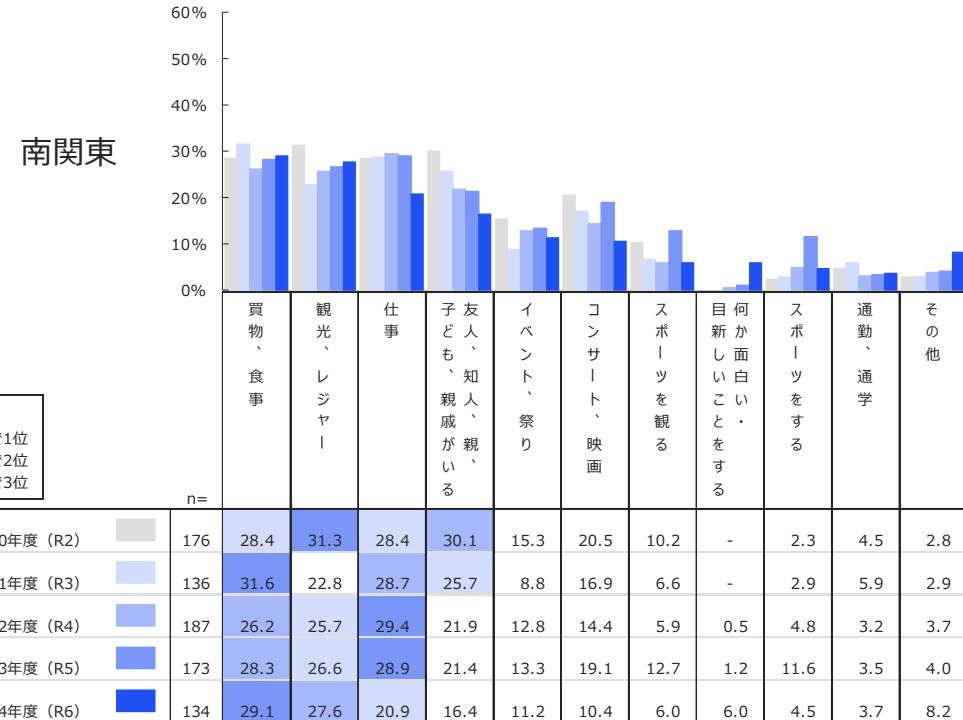
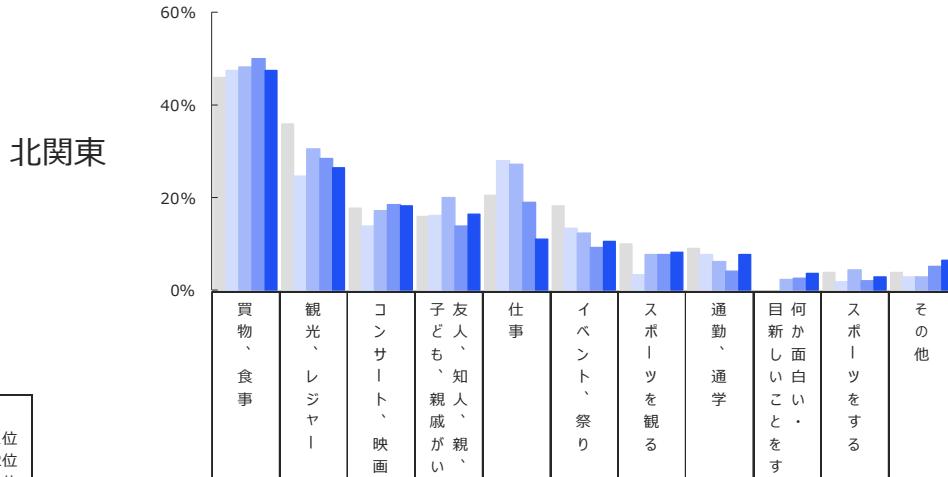
南関東：東京都、千葉県、神奈川県

注）今回の調査結果と2020年度～2024年度に行った調査結果を比較し、現状を見る。
しかし、サンプル数や質問内容、設問順が若干異なることから、完全な比較とはならない。

SC6 あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に行ったことがありますか。（SA）



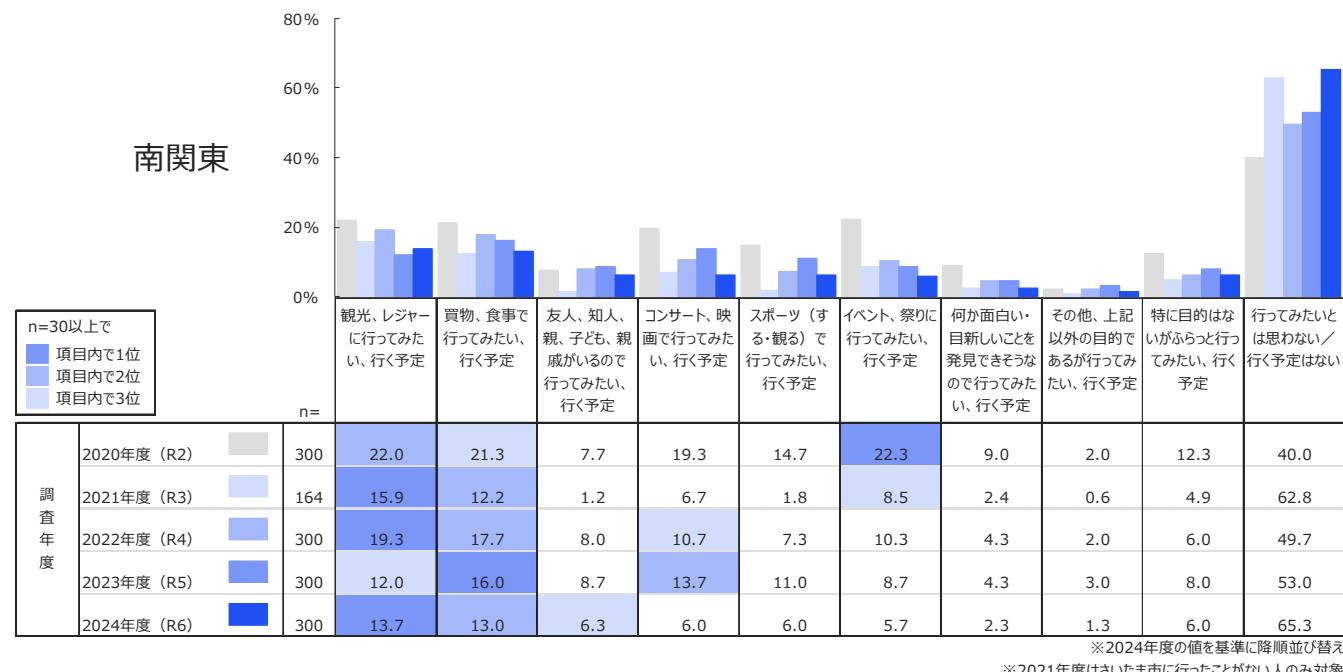
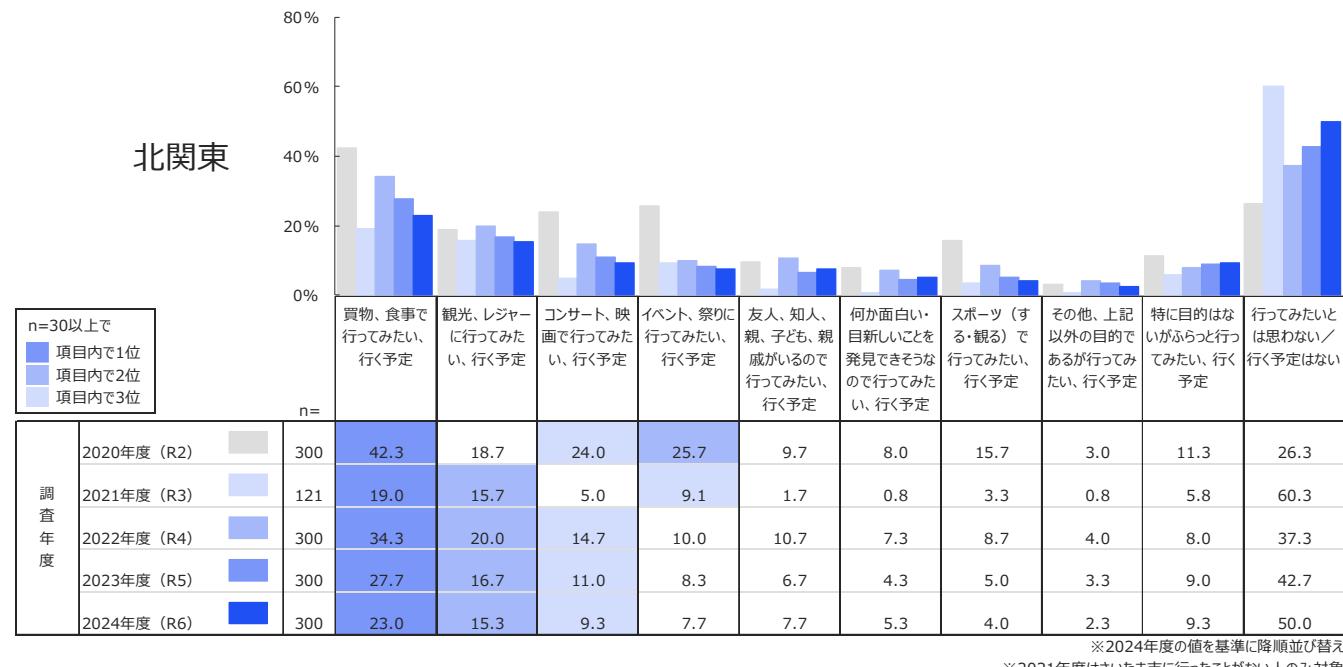
Q1 あなたがさいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に行った理由について、
あてはまるものを全てお選びください。(MA)



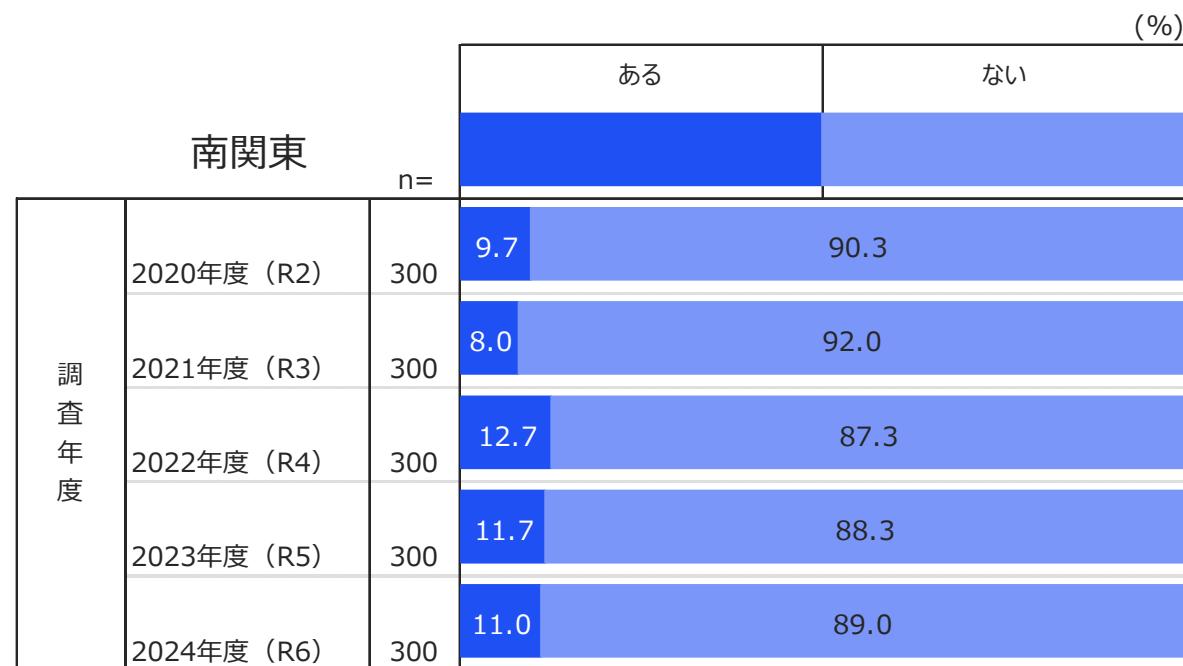
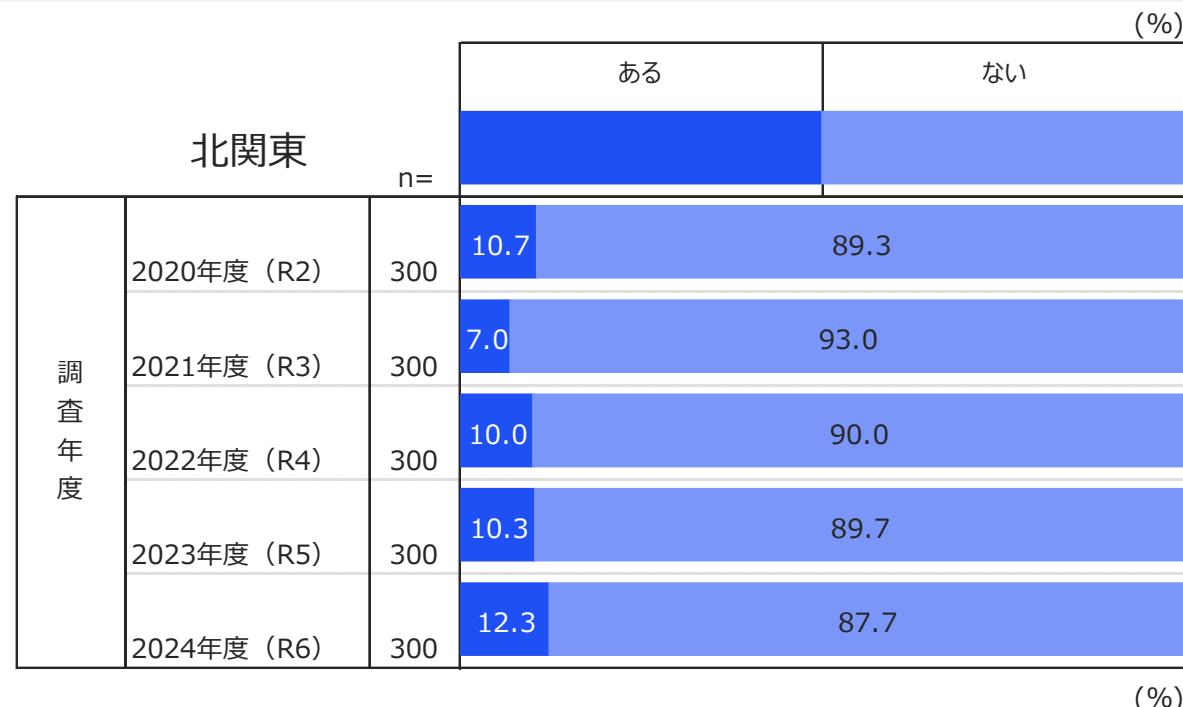
※2024年度の値を基準に降順並び替え

※2024年度の値を基準に降順並び替え

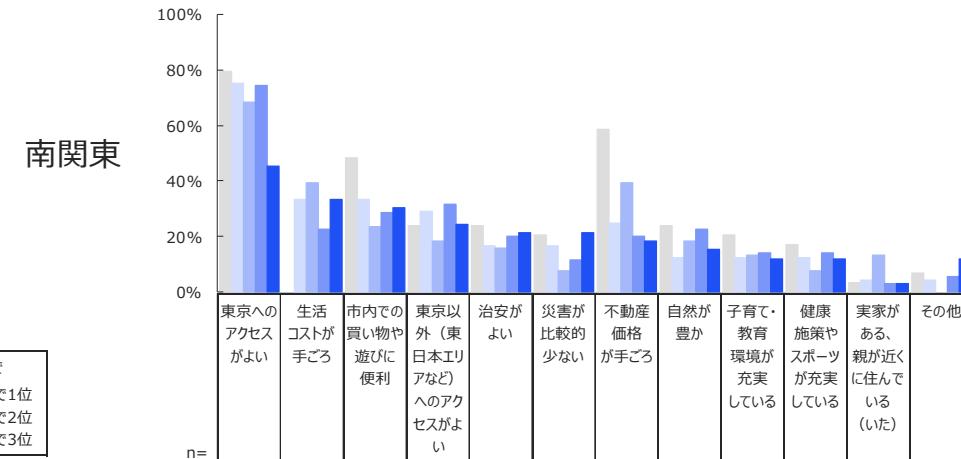
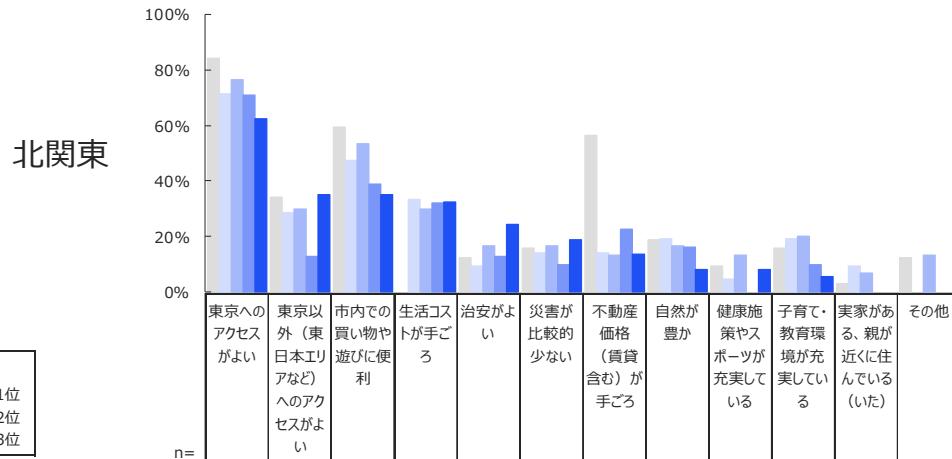
Q2 あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に行ってみたいと思いますか。通勤・通学・通院・仕事等の目的以外でお答えください。また、行ったことがある人も今後の意向としてお答えください。(MA)_北関東



SC7 あなたは、さいたま市内（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に住むことを検討したことがありますか。（SA）



Q3 あなたが、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）内に住むことを検討した理由について、あてはまるものを全てお選びください。(MA)



n=30以上で
1位
2位
3位

n=30以上で
1位
2位
3位

調査年度	2020年度 (R2)	32	84.4	34.4	59.4	-	12.5	15.6	56.3	18.8	9.4	15.6	3.1	12.5
	2021年度 (R3)	21	71.4	28.6	47.6	33.3	9.5	14.3	14.3	19.0	4.8	19.0	9.5	-
	2022年度 (R4)	30	76.7	30.0	53.3	30.0	16.7	16.7	13.3	16.7	13.3	20.0	6.7	13.3
	2023年度 (R5)	31	71.0	12.9	38.7	32.3	12.9	9.7	22.6	16.1	-	9.7	-	-
	2024年度 (R6)	37	62.2	35.1	35.1	32.4	24.3	18.9	13.5	8.1	8.1	5.4	-	-

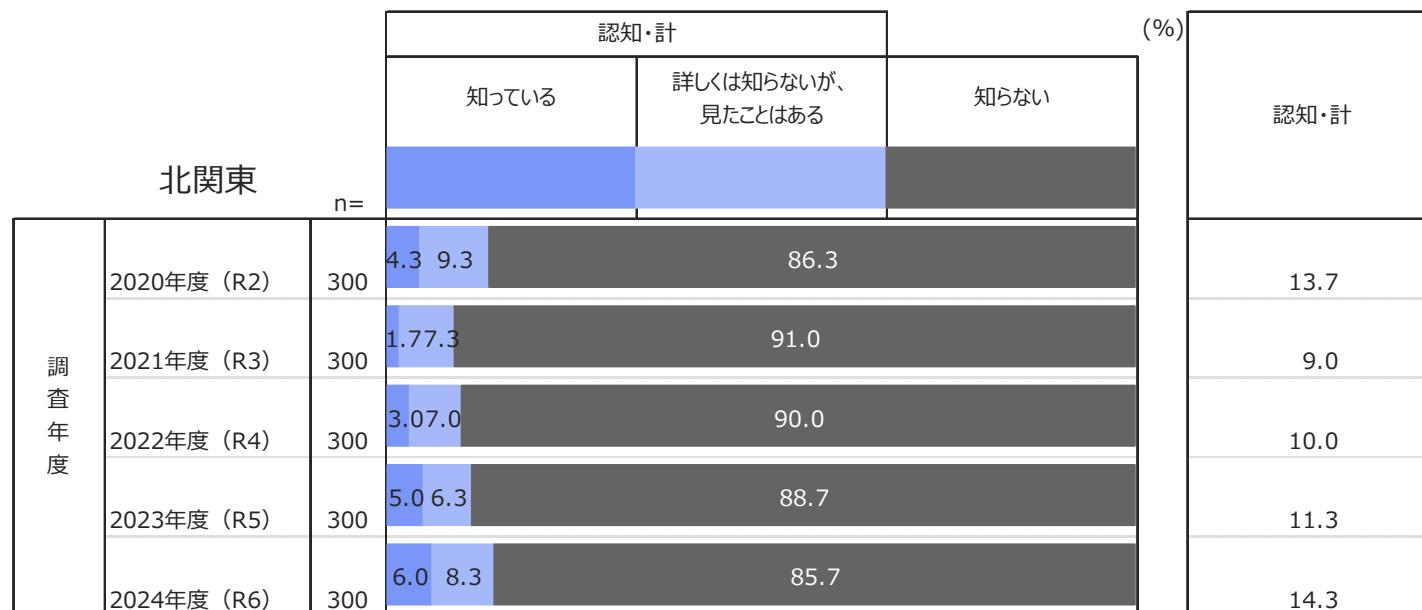
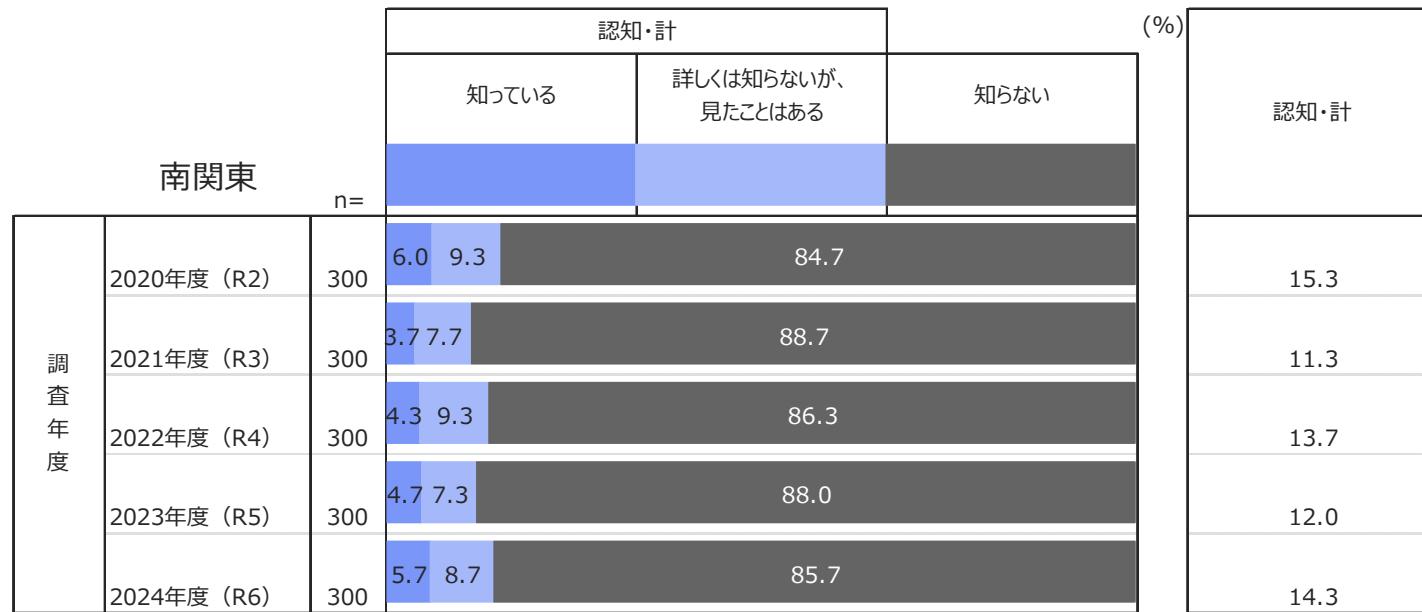
※n=30未満は参考値のため灰色。

※2024年度の値を基準に降順並び替え

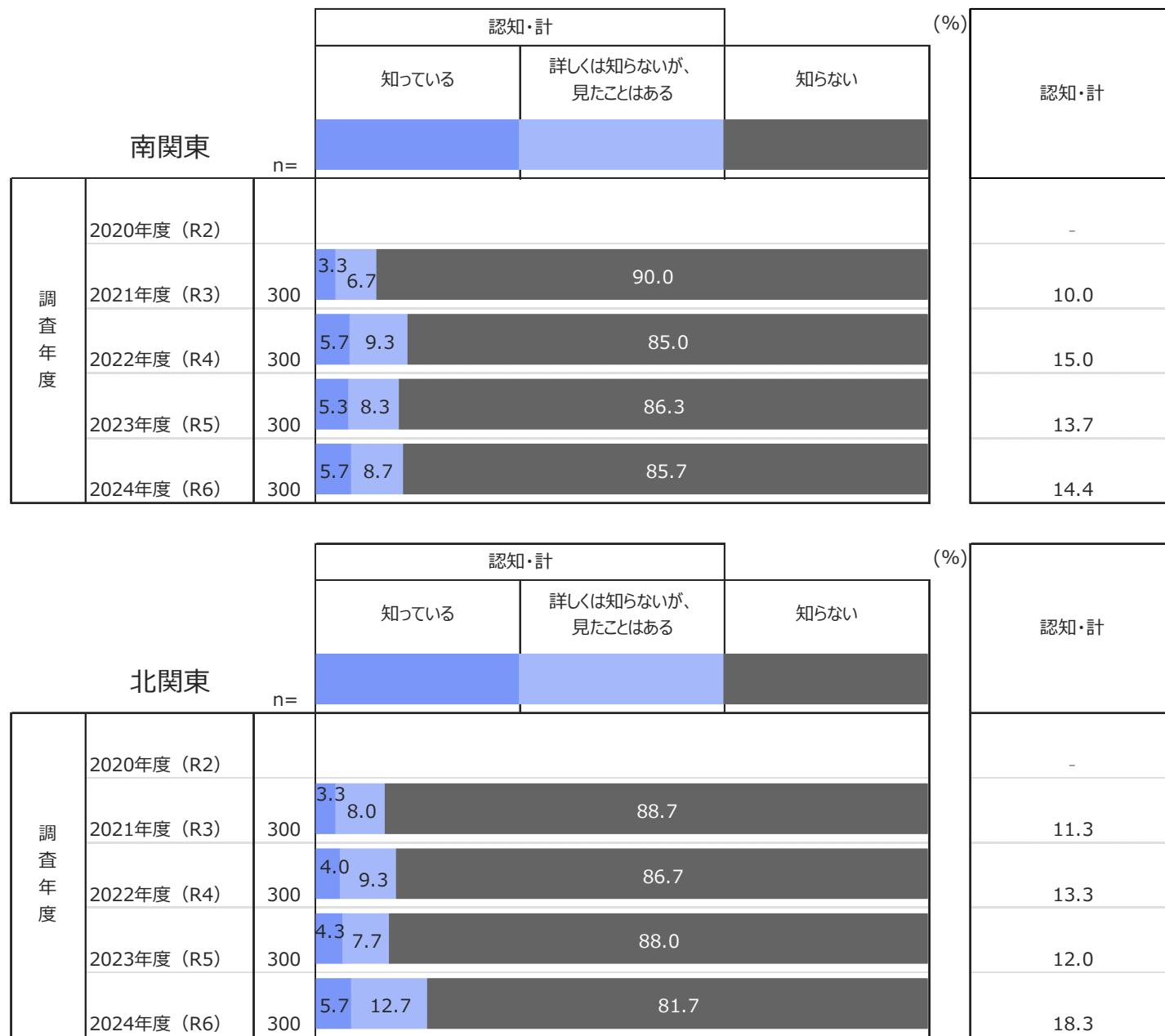
※n=30未満は参考値のため灰色。

※2024年度の値を基準に降順並び替え

SC8 あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）の都市イメージキャッチフレーズ「のびのびシティさいたま市」を知っていますか。（SA）

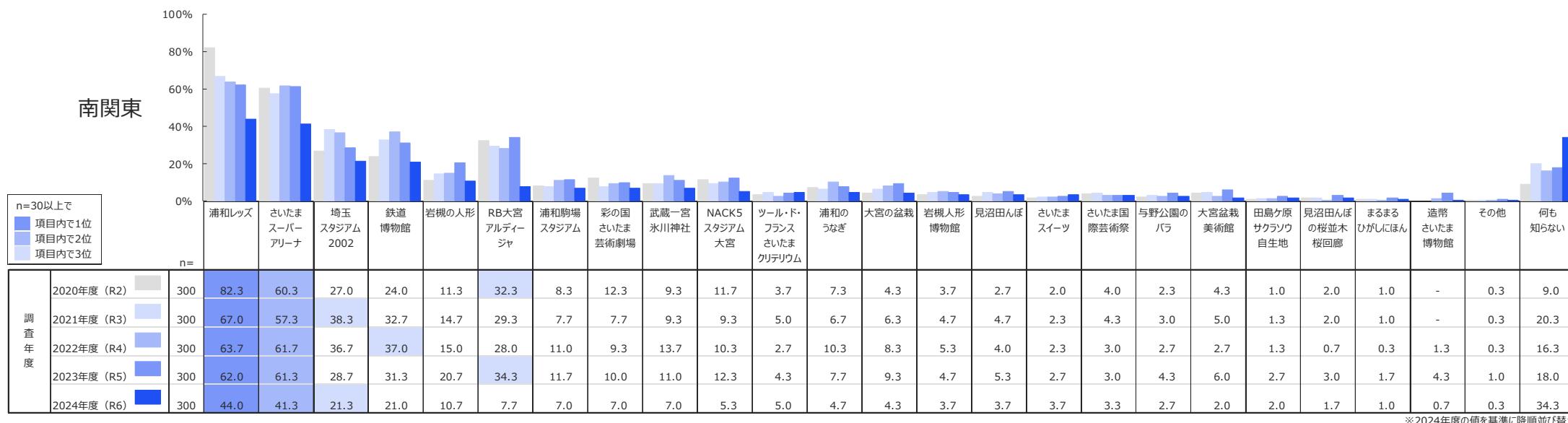
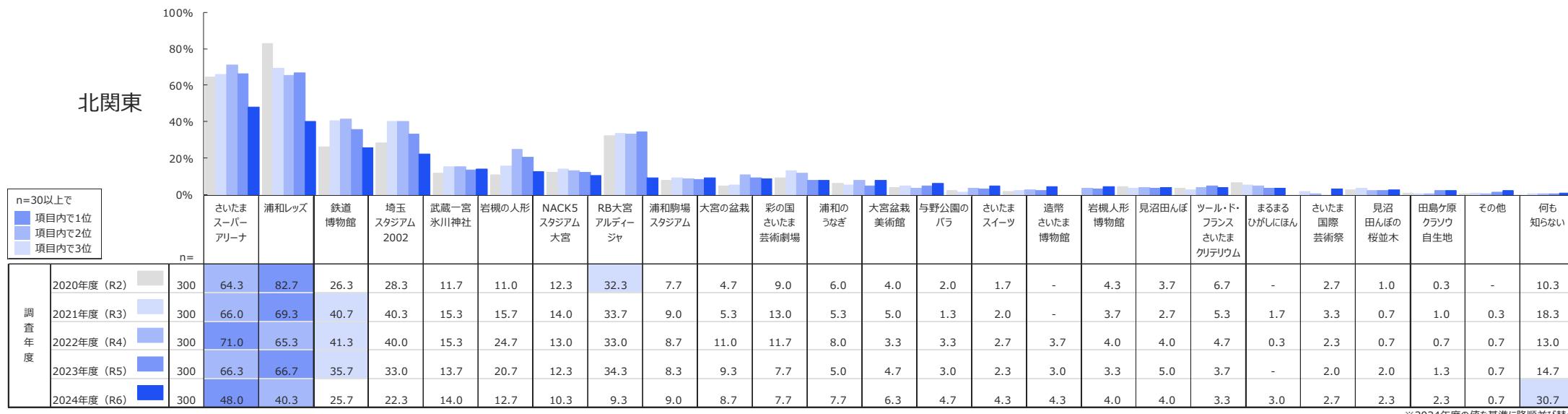


SC9 あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）PRキャラクター「つなが竜ヌウ」を知っていますか。（SA）

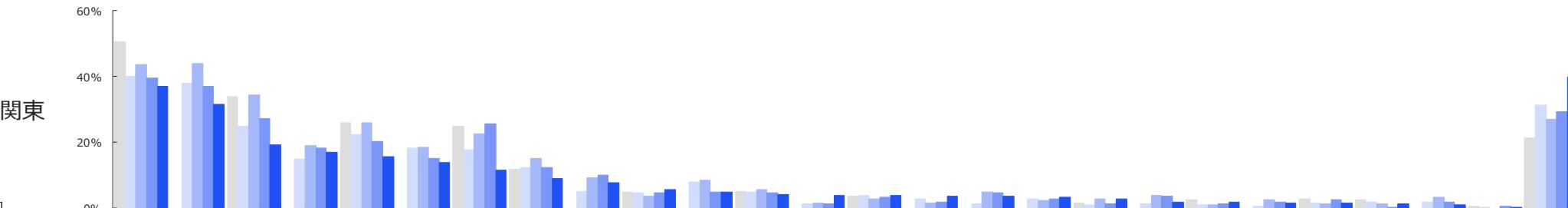


※2020年度は非聴取

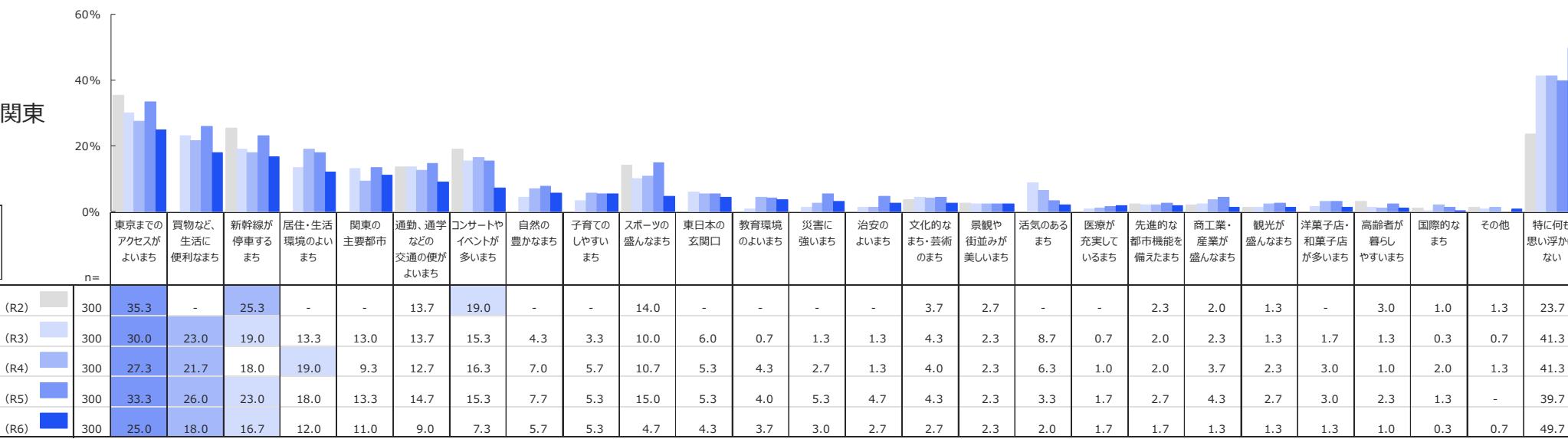
Q4 以下のさいたま市内（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）の施設・名所・名物で、あなたが知っているものをお選びください。(MA)



Q6 さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）について、どのようなイメージを持っていますか。（MA）

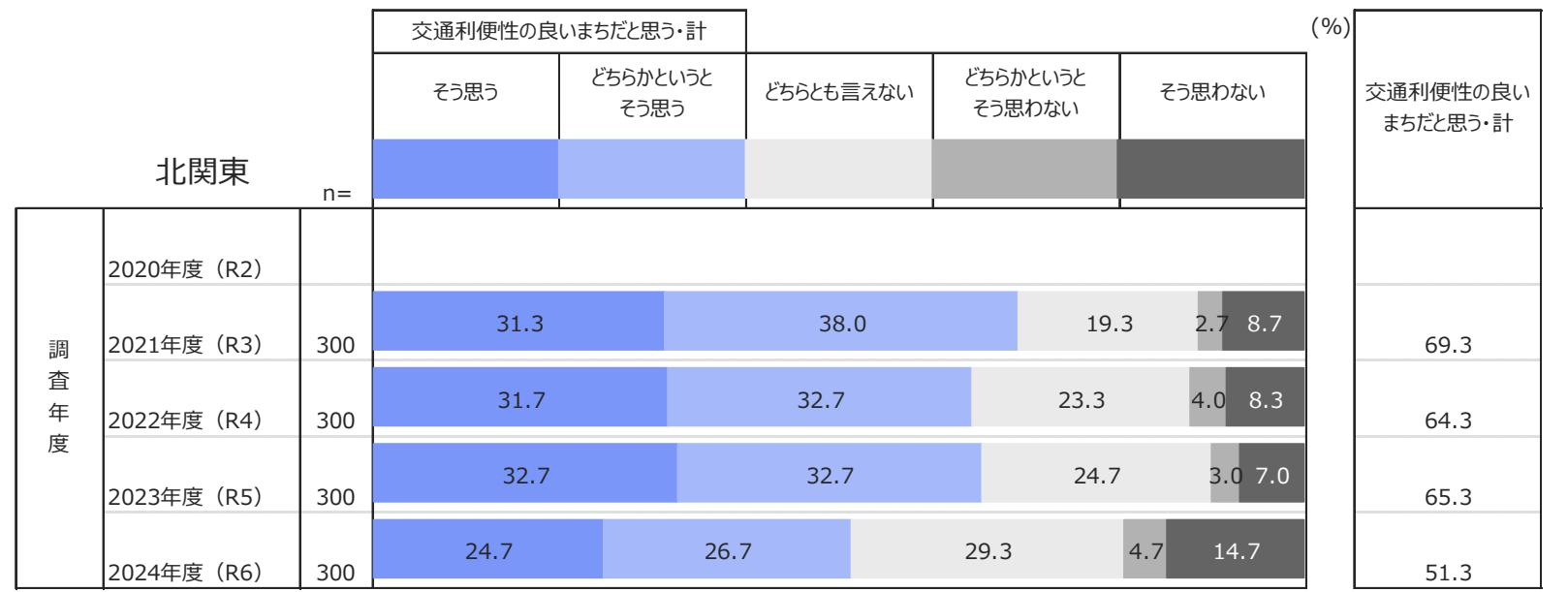


※2024年度の値を基準に降順並び替え

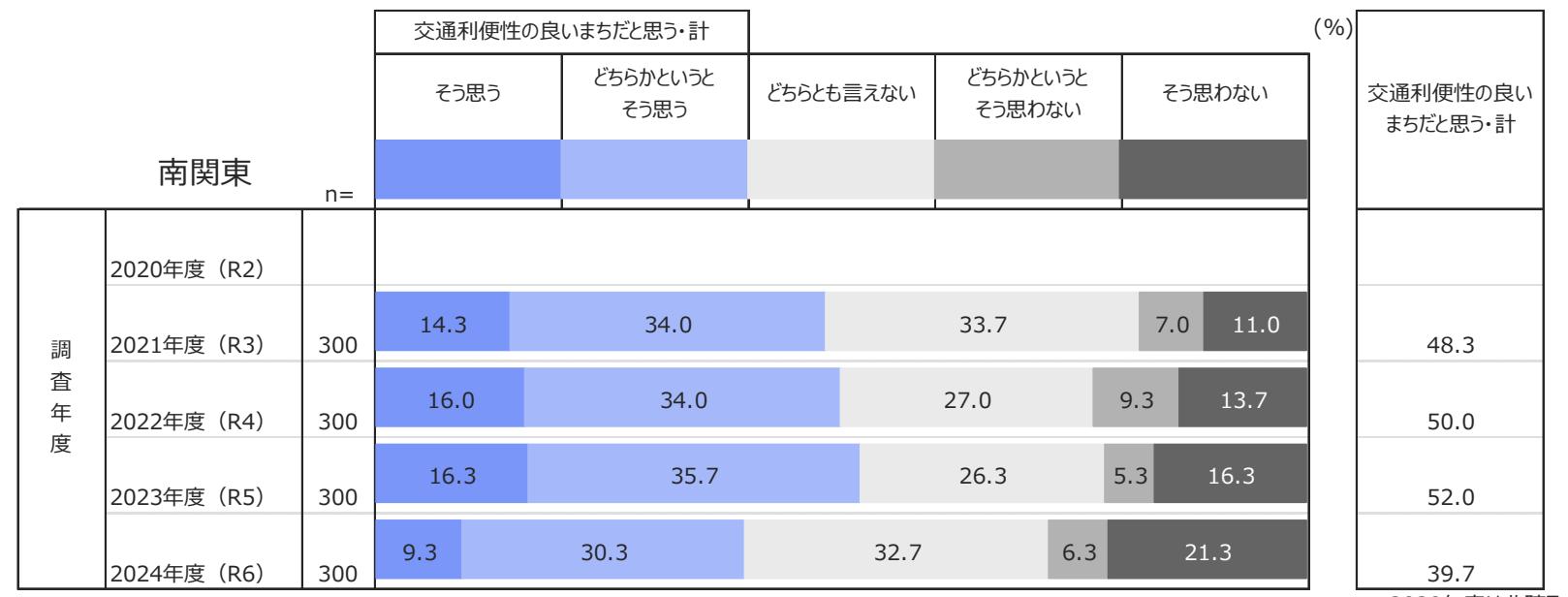


※2024年度の値を基準に降順並び替え

Q7 あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）を「交通利便性の良いまち」だと思いますか。住んでいない人もイメージでお答えください。(SA)

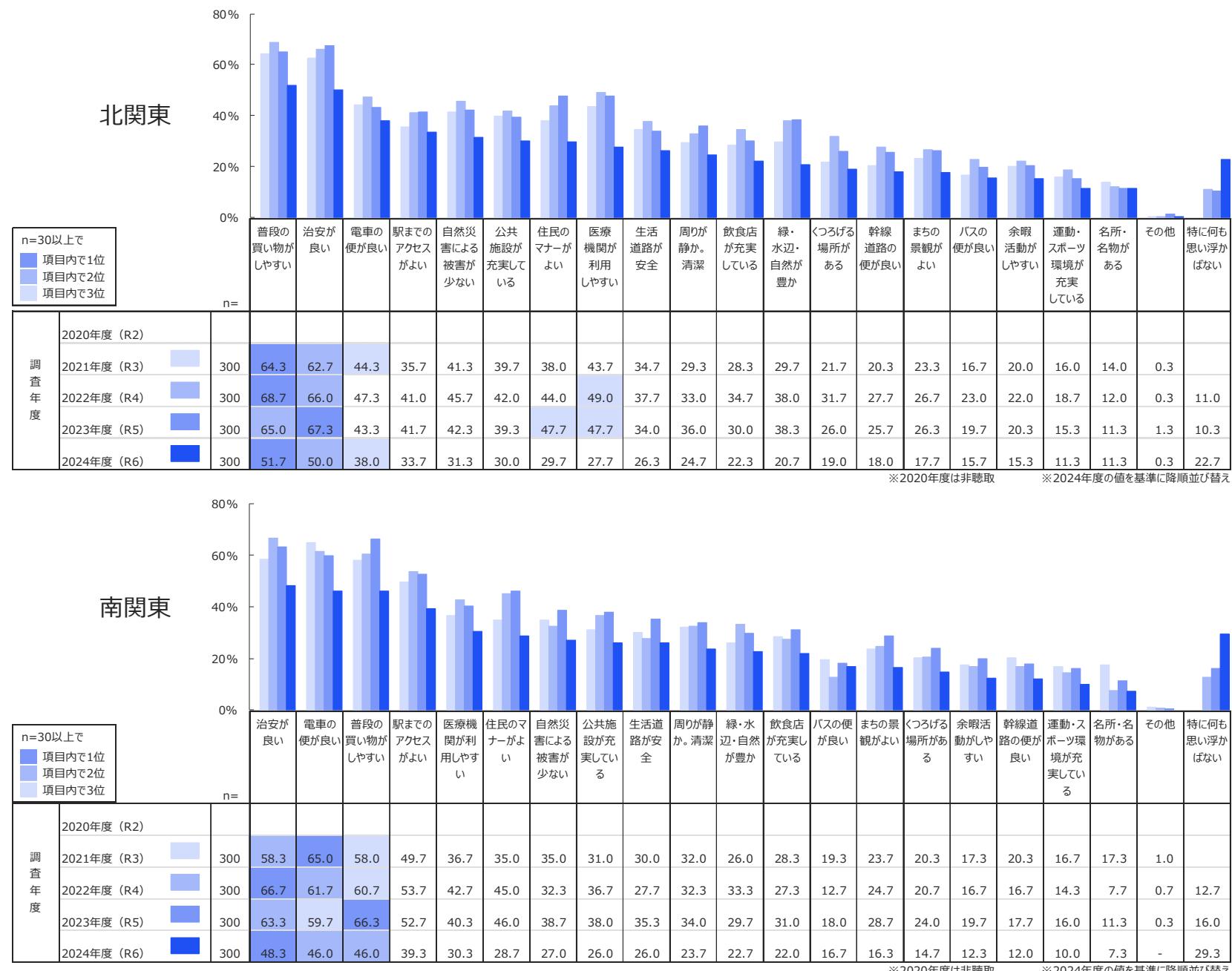


※2020年度は非聴取

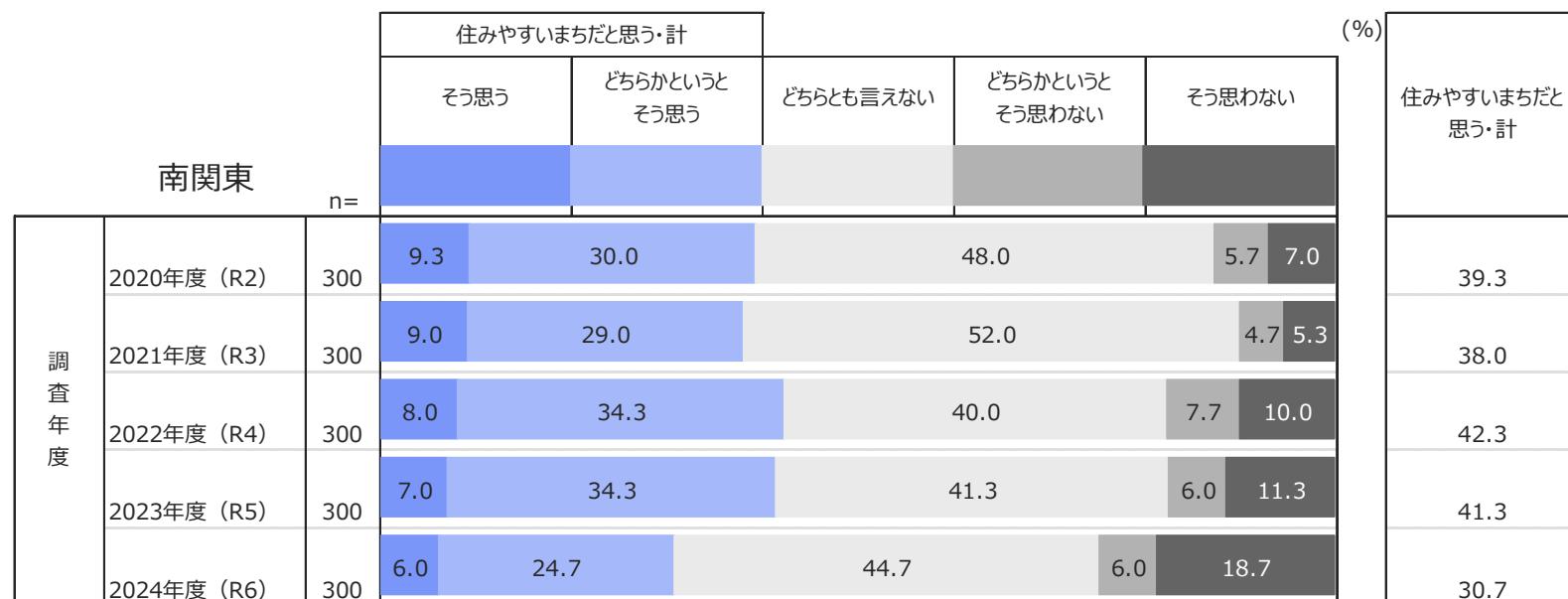
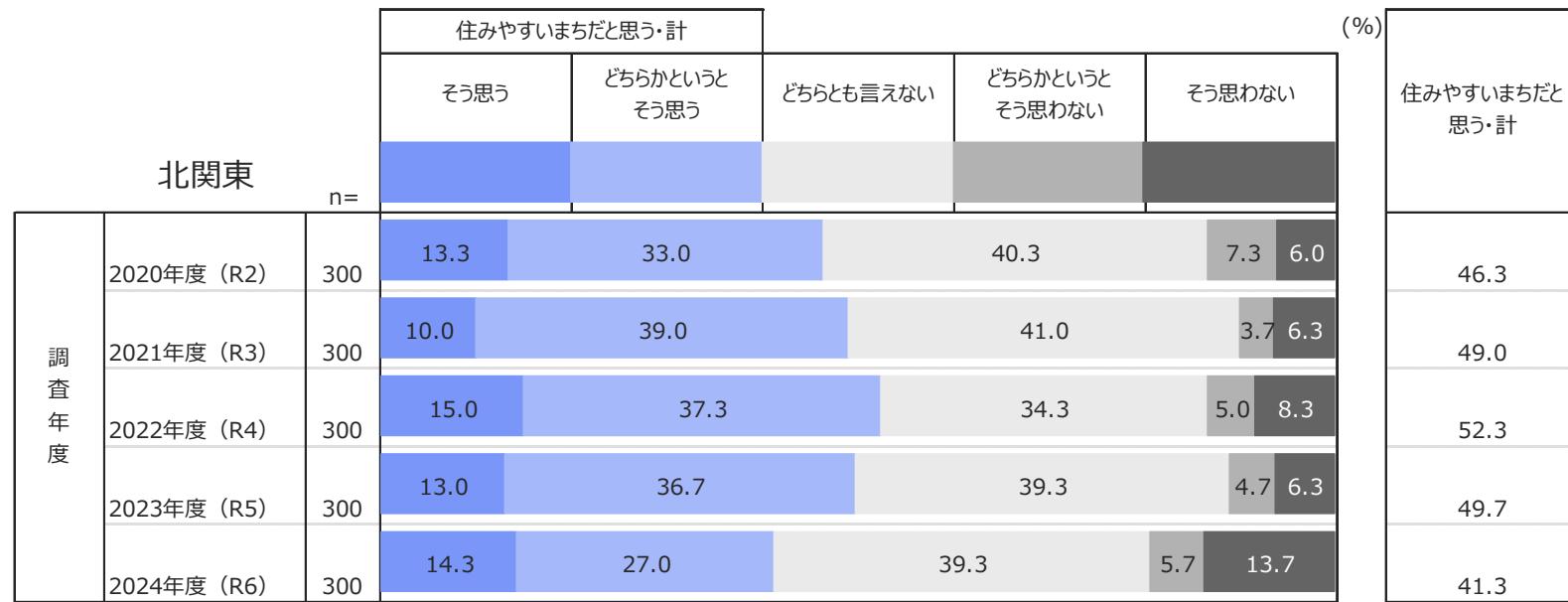


※2020年度は非聴取

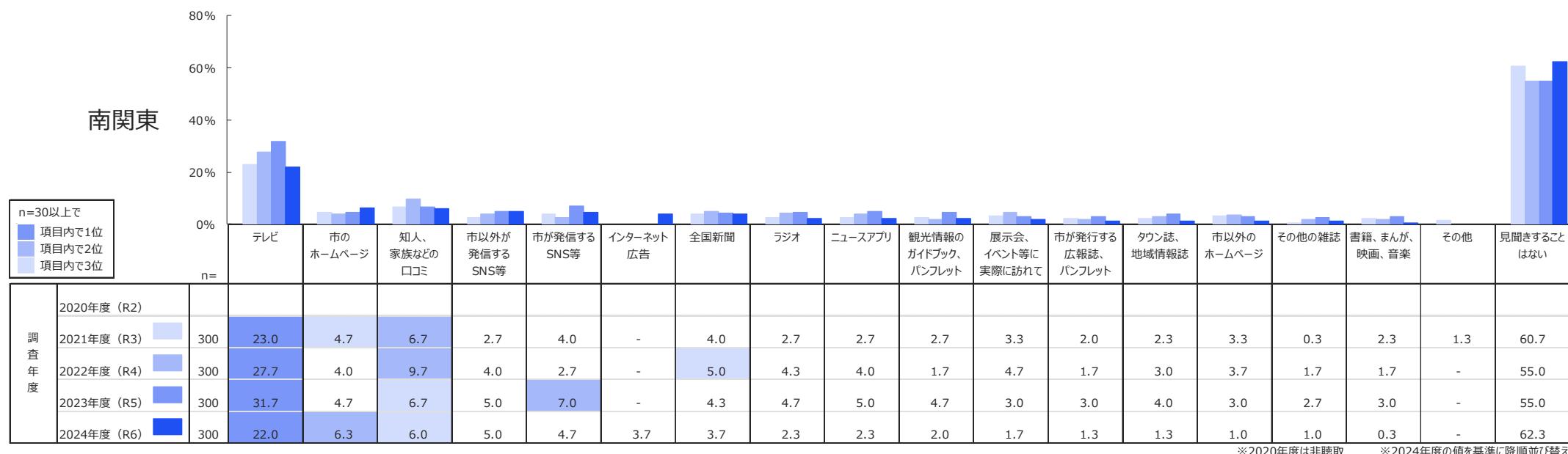
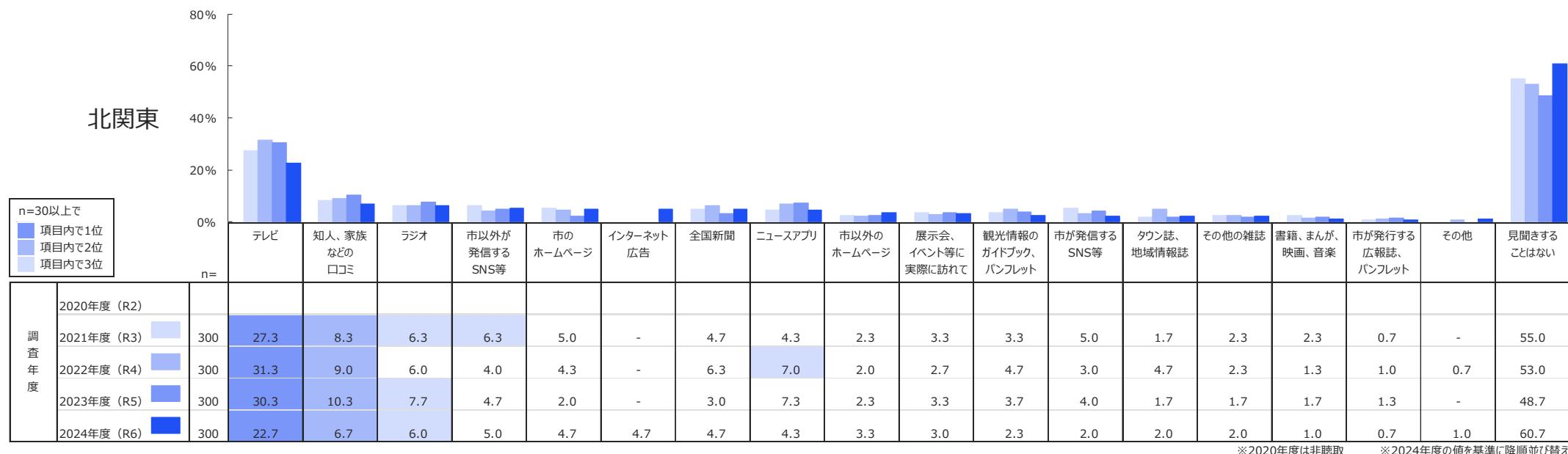
Q10 あなたにとって、「住みやすいまち」とはどのようなまちですか。(MA)



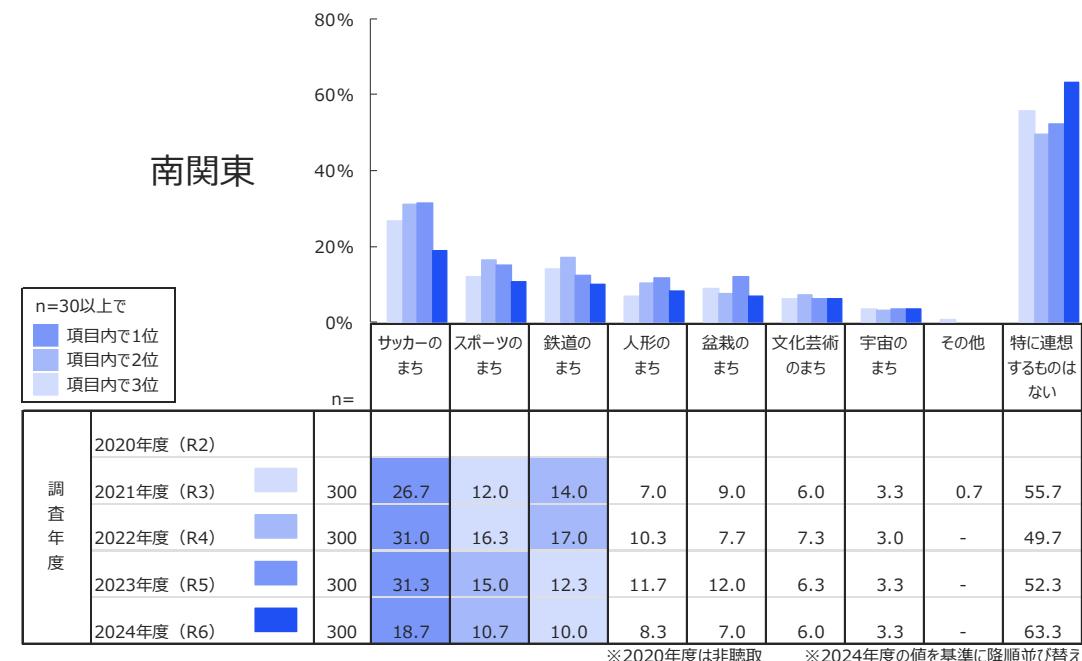
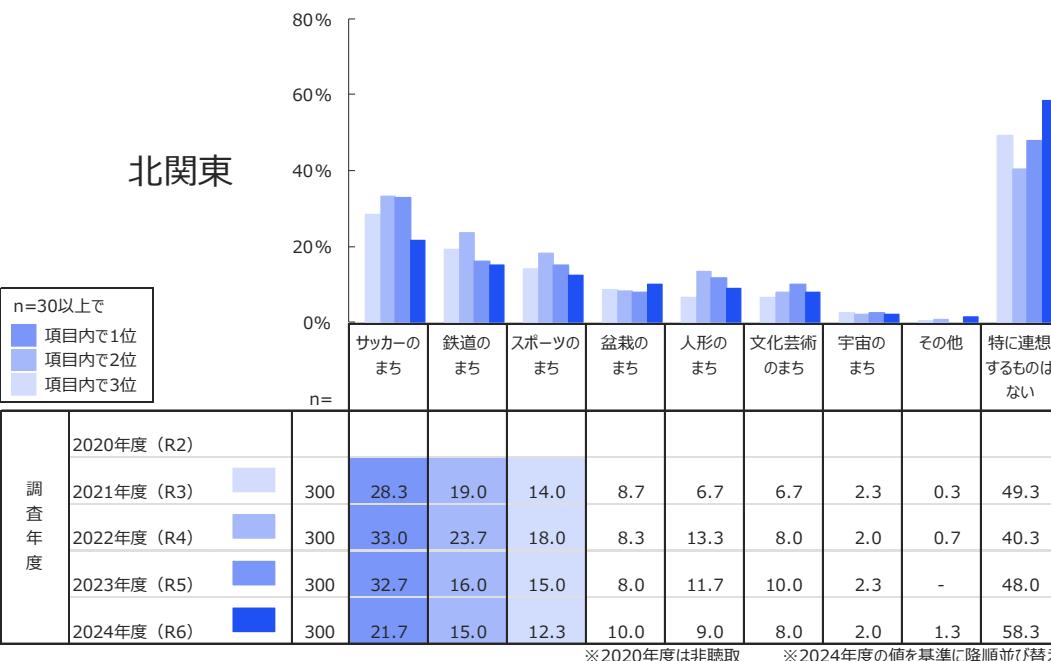
Q11 あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）を「住みやすいまち」だと思いますか。
また、行ったことがない方もイメージでお答えください。(SA)



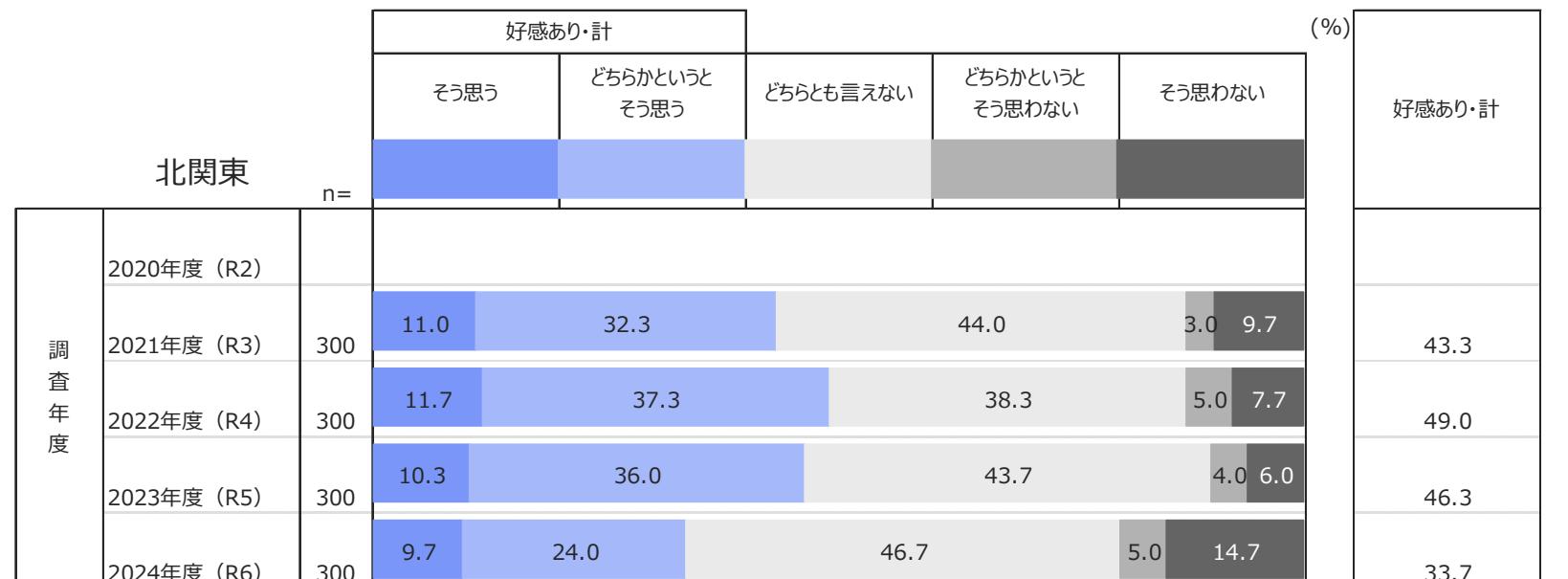
Q12 あなたは普段、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に関連する情報（話題やニュース）をどこで見聞きしていますか。(MA)



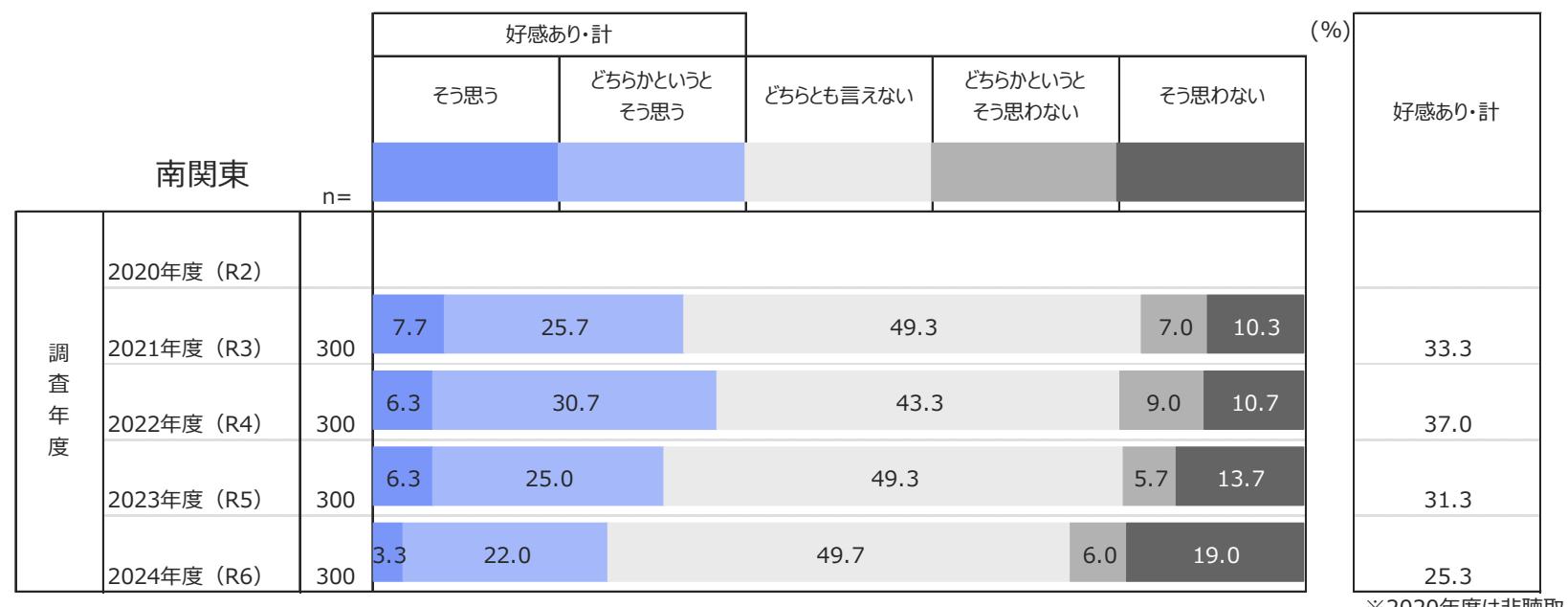
Q13 以下の項目のうち、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）を連想するものを選んでください。
(MA)



Q14 あなたは、さいたま市（旧浦和市、旧大宮市、旧与野市、旧岩槻市）に好感を持っていますか。（SA）



※2020年度は非聴取



※2020年度は非聴取



Partnering for your best decisions
すべては、お客様の最良の決断のために